

# 1

## 番目に読む本

### パソコンの準備

パソコンの電源を入れる前にお読みください。  
接続方法や、必要な準備について説明します。

- 1 始める前に
- 2 パソコンを準備する
- 3 接続/設定する
- 4 仕様



# 知りたいことを調べるには

## 本で調べる



### 『パソコンの準備』

このマニュアルで、パソコンの接続やWindowsのセットアップなど、パソコンを使う前に必要な準備を行います。



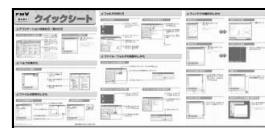
### 『使いはじめガイド』

ユーザー登録の方法、インターネットやEメールの始め方や使い方などがわかります。



### 『トラブル解決ガイド』

画面が表示されない場合など、サービスアシスタントでは調べられないトラブルのときにご覧ください。



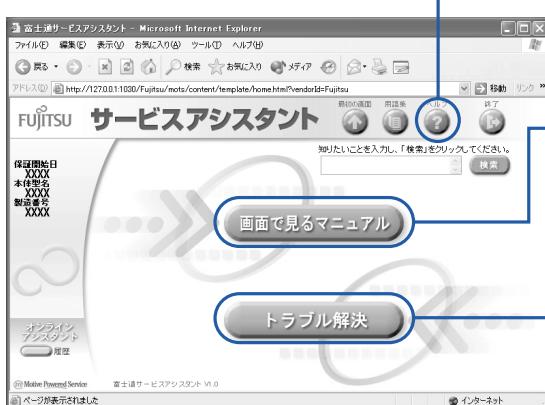
### 『基本操作クイックシート』

パソコンの基本的な操作方法がまとめてあります。お手元に置いてご覧ください。

## 画面で調べる



### 「サービスアシスタント」



#### (ヘルプ)

サービスアシスタントの詳しい使い方を知りたいときは、このボタンをクリック！

#### 画面で見るマニュアル

このパソコンについて知りたいとき、調べたいときは、このボタンをクリック！  
パソコン入門やアプリケーションの使い方、周辺機器の取り付け方などが調べられます。

#### トラブル解決

パソコンの調子が悪い…、故障かな…、と思ったときは、このボタンをクリック！  
故障かどうかのチェックが行われ、トラブル解決のためのアドバイスが表示されます。

## 起動方法

### DESKPOWERの場合

キーボードの「サポート」ボタンを押す

### BIBLO NEシリーズの場合

ワンタッチボタンを「ワンタッチ」モードにして「A」ボタンを押す

### BIBLO NB、MGシリーズの場合

ワンタッチボタンを「Application」モードにして「A」ボタンを押す

「スタート」ボタン 「すべてのプログラム」 「富士通サービスアシスタント」の順にクリックしても起動できます。

# 『パソコンの準備』の内容

必ずお読みください

まず確認と準備をします

第1章 作業を始める前に



電源を入れてパソコンを使う準備をします

第2章 電源を入れてパソコンの準備をする



通信の回線を接続します

第2章 電源を入れてパソコンの準備をする

3章は目的に合わせてお読みください

■プリンタなどの周辺機器を取り付けたい (⇒P.60)

## 安全にお使いいただくために

このマニュアルには、このパソコンを安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。

本パソコンをお使いになる前に、本マニュアルを熟読してください。特に、添付の『安全上のご注意』をよくお読みになり、理解されたうえでこのパソコンをお使いください。

また、このマニュアルおよび『安全上のご注意』は、本パソコンの使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

## 保証書について

- 保証書は、必ず必要事項を記入し、内容をよくお読みください。その後、大切に保管してください。
- 修理を依頼される場合には、必ず保証書をご用意ください。
- 保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。
- 保証期間内でも、保証書の提示がない場合や、天災あるいは無理な使用による故障の場合などには、有料での修理となります。ご注意ください。（詳しくは、保証書をご覧ください）。
- 修理後は、パソコンの内容が修理前とは異なり、ご購入時の状態や、何も入っていない状態になっている場合があります。大切なデータは、フロッピーディスクなどに複写して、保管しておいてください。
- 本パソコンの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造終了後6年間です。

## 使用許諾契約書

富士通株式会社（以下弊社といいます）では、本パソコンにインストール、もしくは添付されているソフトウェア（以下本ソフトウェアといいます）をご使用いただく権利をお客様に対して許諾するにあたり、下記「ソフトウェアの使用条件」にご同意いただくことを使用の条件とさせていただいております。

なお、お客様が本ソフトウェアのご使用を開始された時点で、本契約にご同意いただいたものといたしますので、本ソフトウェアをご使用いただく前に必ず下記「ソフトウェアの使用条件」をお読みいただきますようお願い申し上げます。ただし、本ソフトウェアのうちの一部ソフトウェアに別途の「使用条件」もしくは「使用許諾契約書」等が、添付されている場合は、本契約に優先して適用されますので、ご注意ください。

### ソフトウェアの使用条件

#### 1. 本ソフトウェアの使用および著作権

お客様は、本ソフトウェアを、日本国内において本パソコンでのみ使用できます。なお、お客様は本パソコンのご購入により、本ソフトウェアの使用権のみを得るものであり、本ソフトウェアの著作権は引き続き弊社または開発元である第三者に帰属するものとします。

#### 2. バックアップ

お客様は、本ソフトウェアにつきまして、1部の予備用（バックアップ）媒体を作成することができます。

#### 3. 本ソフトウェアの別ソフトウェアへの組み込み

本ソフトウェアが、別のソフトウェアに組み込んで使用されることを予定した製品である場合には、お客様はマニュアル等記載の要領に従って、本ソフトウェアの全部または一部を別のソフトウェアに組み込んで使用することができます。

#### 4. 複製

(1) 本ソフトウェアの複製は、上記「2」および「3」の場合に限定されるものとします。

本ソフトウェアが組み込まれた別のソフトウェアについては、マニュアル等で弊社が複製を許諾していない限り、予備用（バックアップ）媒体以外には複製は行わないでください。

ただし、本ソフトウェアに複製防止処理がほどこしてある場合には、複製できません。

(2) 前号によりお客様が本ソフトウェアを複製する場合、本ソフトウェアに付されている著作権表示を、変更、削除、隠蔽等しないでください。

#### 5. 第三者への譲渡

お客様が本ソフトウェア（本パソコンに添付されている媒体、マニュアルならびに予備用バックアップ媒体を含みます）を第三者へ譲渡する場合には、本ソフトウェアがインストールされたパソコンとともに本ソフトウェアのすべてを譲渡することとします。なお、お客様は、本パソコンに添付されている媒体を本パソコンとは別に第三者へ譲渡することはできません。

#### 6. 改造等

お客様は、本ソフトウェアを改造したり、あるいは、逆コンパイル、逆アセンブルをともなうリバースエンジニアリングを行うことはできません。

#### 7. 壁紙の使用条件

お客様は、「FMV」ロゴ入りの壁紙を変更したり、第三者へ配布することはできません。

#### 8. 保証の範囲

(1) 弊社は、本ソフトウェアとマニュアル等との不一致がある場合、本パソコンをご購入いただいた日から90日以内に限り、お申し出をいただければ当社不一致の修正に關して弊社が必要と判断した情報を提供いたします。

また、本ソフトウェアの記録媒体等に物理的な欠陥（破損等）等がある場合、本パソコンをご購入いただいた日から1ヶ月以内に限り、不良品と良品との交換に応じるものとします。

(2) 弊社は、前号に基づき負担する責任以外の、本ソフトウェアの使用または使用不能から生じるいかなる損害（逸失利益、事業の中断、事業情報の喪失その他の金銭的損害を含みますが、これに限られないものとします）に關しても、一切責任を負いません。たとえ、弊社がそのような損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。

(3) 本ソフトウェアに第三者が開発したソフトウェアが含まれている場合においても、第三者が開発したソフトウェアに関する保証は、弊社が行う上記（1）の範囲に限られ、開発元である第三者は本ソフトウェアに関する一切の保証を行いません。

#### 9. ハイセイフティ

本ソフトウェアは、一般事務用、パーソナル用、家庭用などの一般的な用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本ソフトウェアを使用しないものとします。ハイセイフティ用途とは、下記の例のよう、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

記

原子力核制御、航空機飛行制御、航空交通管制、大量輸送運行制御、生命維持、兵器発射制御など

富士通株式会社

## マイクロソフト製品サービスパック

Microsoft® Windows®をご利用のお客様がより安定したシステムを運用していく上で、マイクロソフト社はサービスパックを提供しております（<http://www.microsoft.com/japan/>）。

お客様は、最新のサービスパックをご利用いただくことにより、その時点でマイクロソフト社が提供する Microsoft® Windows® にて最も安定したシステムを構築できます。

したがいまして、当社としては、最新のサービスパックをご利用いただくことを基本的には推奨いたします。

ただし、お客様の環境によっては、サービスパック適用により予期せぬ不具合が発生する場合もありますので、ご利用前にはサービスパックの *Readme.txt* を必ずご確認ください。

また、万一、インストールに失敗したことを考慮し、システムのバックアップを取ることを推奨いたします。

## このマニュアルの表記について

### 安全にお使いいただくための絵記号について

このマニュアルでは、いろいろな絵表示を使用しています。これは装置を安全に正しく使用していただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害のみが発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の表示と同時に次のような記号を使っています。

	△で示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
	○で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

### 画面例およびイラストについて

表記されている画面およびイラストは一例です。お使いの機種によって、画面およびイラストが若干異なることがあります。また、このマニュアルに表記されているイラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

## 本文中の記号について

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

 <b>重要</b>	お使いになるときに注意していただきたいことや、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
 <b>POINT</b>	知っていると便利なことを記述しています。必要に応じてお読みください。
 <b>参考</b>	参照先を記述しています。
 <b>ご覧</b>	ご覧になっていただきたいマニュアルを記述しています。
 <b>サービスアシスタント</b>	サービスアシスタントを表しています。次のいずれかの操作で起動できます。 <ul style="list-style-type: none"><li>・ワンタッチボタンを「ワンタッチ」モードにして「A」ボタンを押す</li><li>・「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「富士通サービスアシスタント」の順にクリック</li></ul>
 <b>CD-ROM</b>	CD-ROM を表しています。

## 製品などの呼び方について

このマニュアルでは製品名称などを、次のように略して表記しています。

正式名称	このマニュアルでの表記
Microsoft® Windows® XP Home Edition	Windows または Windows XP Home Edition
Microsoft® Windows® XP Professional	Windows XP Professional
Microsoft® Office XP Personal	Office XP Personal
CD-RW/DVD-ROM ドライブ	CD/DVD ドライブ
富士通サービスアシスタント V1.1	サービスアシスタント

## 警告ラベル/注意ラベル

このパソコンには警告ラベルおよび注意ラベルが貼ってあります。

警告ラベルや注意ラベルは、絶対にはがしたり、汚したりしないでください。

## 商標および著作権について

Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

インテルおよび Pentium は、米国インテル社の登録商標です。

Motive のロゴ、Motive Communications, Inc., ServiceNet Platform および他の製品名あるいは技術用語は Motive Communications, Inc. の商標または登録商標です。

Bluetooth® は、Bluetooth SIG の商標であり、弊社へライセンスされています。

その他の各製品名は、各社の商標または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

All Rights Reserved, Copyright© FUJITSU LIMITED 2002

画面の使用に際して米国 Microsoft Corporation の許諾を得ています。

## 本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。

お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。

ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

- ・原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

本製品には、有寿命部品（液晶ディスプレイ、ハードディスクなど）が含まれており、長時間連続で使用した場合、早期の部品交換が必要になります。

## データのバックアップについて

本装置に記録されたデータ（基本ソフト、アプリケーションソフトも含む）の保全については、お客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。また、修理を依頼される場合も、データの保全については保証されませんので、事前にお客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。

データが失われた場合でも、保証書の記載事項以外は、弊社ではいかなる理由においても、それに伴う損害やデータの保全・修復などの責任を一切負いかねますのでご了承ください。

添付の CD-ROM などは大切に保管してください

これらのディスクは、本パソコンに入っているソフトウェアをご購入時と同じ状態に戻すときに必要です。

## 液晶ディスプレイの特性について

以下は、液晶ディスプレイの特性です。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

- ・ TFT 液晶ディスプレイは高度な技術を駆使し、一画面上に 235 万個以上（解像度 1024 × 768 の場合）の画素（ドット）より作られております。このため、画面上の一部に点灯しないドットや、常時点灯するドットが存在する場合がありますが、これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
  - ・ 本パソコンで使用している液晶ディスプレイは、製造工程により、各製品で色合いが異なる場合があります。また、温度変化などで多少の色むらが発生する場合があります。

## 注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

この装置は、マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

本装置は、社団法人電子情報技術産業協会が定める高調波ガイドラインの適用対象外です。

本装置の使用環境は、温度 5 ~ 35 °C、湿度 20 ~ 80% です。また、保存環境は、温度 -10 ~ 60 °C、湿度 20 ~ 80% です。

当社は、国際エネルギー・スタープログラムの参加事業者として本製品が国際エネルギー・スタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。



この製品には、マクロビジョンコーポレーション及びその他の権利者が所有している米国特許の方法クレームその他の知的財産権で保護されている著作権保護のための技術が搭載されています。この著作権保護のための技術の使用に関しては、マクロビジョンコーポレーションの許可が必要ですが、家庭及び他の限定された視聴に限っては許可を受けています。またリバースエンジニアリングや分解は禁止されています。

本パソコンにテレビを接続する場合は、適度な明るさの部屋で、できるだけテレビ画面から離れてご覧ください。ごくまれに強い光の刺激を受けたり、点滅を繰り返す画面を見ていると、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす方がおります。こうした症状を経験したことがある方は、テレビ画面をご覧になる前に、必ず医師にご相談ください。また、テレビ画面を見ている途中でこのような症状が起きた場合は、すぐに中止して医師の診断を受けてください。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき  
ドルビービーはドルビーラボラトリーズの商標です。

著作権 1992-1999 年ドルビーラボラトリーズインヨーポーレーティド。不許複製。

このパソコンは、国内での使用を前提に作られています。海外での使用につきましては、お客様の責任で行っていただくようお願いいたします。

本装置は、日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。日本国内でのみお使いいただけます。また、海外でご使用になると罰せられることがあります。

<p>本装置の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。</p> <p>1. 本装置を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認して下さい。</p> <p>2. 万一、本装置から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、下記の連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーテイションの設置など）についてご相談して下さい。</p> <p>3. その他、本装置から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせ下さい。</p> <p>連絡先：「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」</p>
---

# 目 次

このマニュアルの表記について .....	3
<b>各部名称</b> .....	9
パソコン本体前面 .....	9
パソコン本体側面 .....	10
パソコン本体背面 .....	11
パソコン本体下面 .....	11
i-Panel .....	12
ワンタッチボタン .....	13

## 第1章 作業を始める前に

<b>1 確認してください</b> .....	16
機種名を確認してください .....	16
添付品がすべて揃っているか確認してください .....	16
<b>2 使用上のお願い</b> .....	17
パソコン本体取り扱い上の注意 .....	17
使用および保管に適さない場所 .....	17
電源を切るときの注意 .....	18
<b>3 必要なものを揃える</b> .....	19

## 第2章 電源を入れてパソコンの準備をする

<b>1 初めて電源を入れる</b> .....	22
AC アダプタを接続する .....	22
初めて電源を入れる～Windows のセットアップ .....	24
<b>2 画面を確認する</b> .....	43
<b>3 電源の切り方と入れ方</b> .....	44
電源を切る .....	44
電源を入れる .....	48
<b>4 通信の回線を接続する</b> .....	51
こんな方法があります .....	51
一般的電話回線を使う場合 .....	52
ISDN 回線を使う場合 .....	55
携帯電話／PHS を使う場合 .....	56
<b>5 準備が完了したら</b> .....	57
パソコンの準備はすべて完了していますか？ .....	57
パソコンの準備が完了したら『使いはじめガイド』へ .....	57

## 第3章 目的に合わせて接続／設定する

<b>1 周辺機器を取り付ける</b> .....	60
取り扱い上の注意 .....	60
「画面で見るマニュアル」をご覧ください .....	60

この本で見つからない情報は、画面の索引で探そう！



(サービスアシスタント) → 「画面で見るマニュアル」 → 上部の  (索引) ボタン

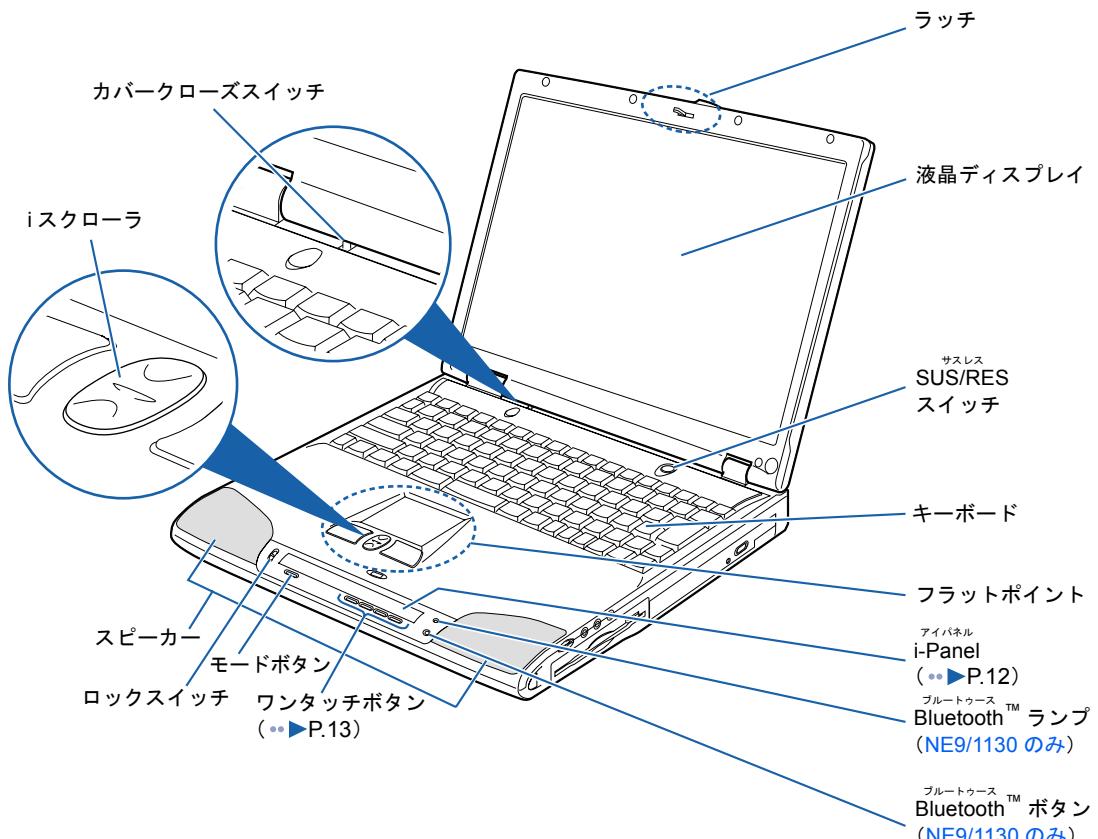
索引

## 第4章 付 錄

<b>1 仕様一覧</b> .....	64
<b>本体</b> .....	64
<b>仕様一覧の※印について</b> .....	67
<b>ワイヤレス LAN 機能</b> .....	67
<b>2 リサイクルについて</b> .....	68
<b>索 引</b> .....	69

# 各部名称

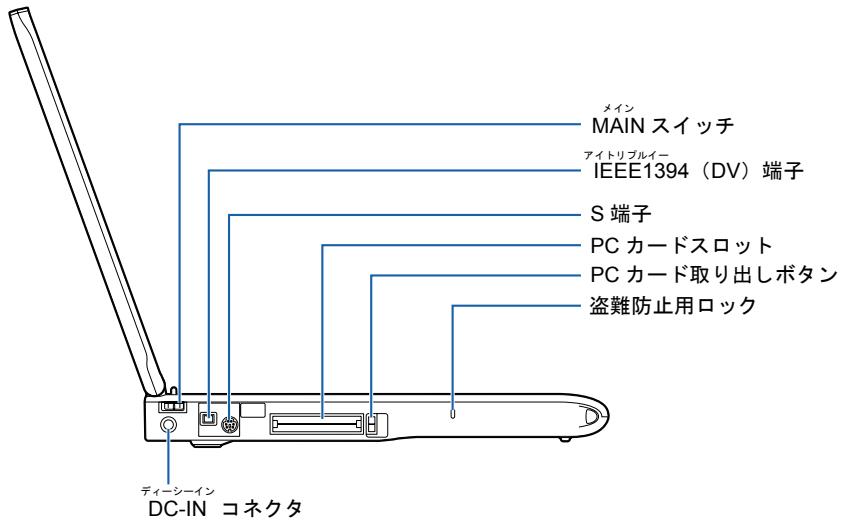
## パソコン本体前面



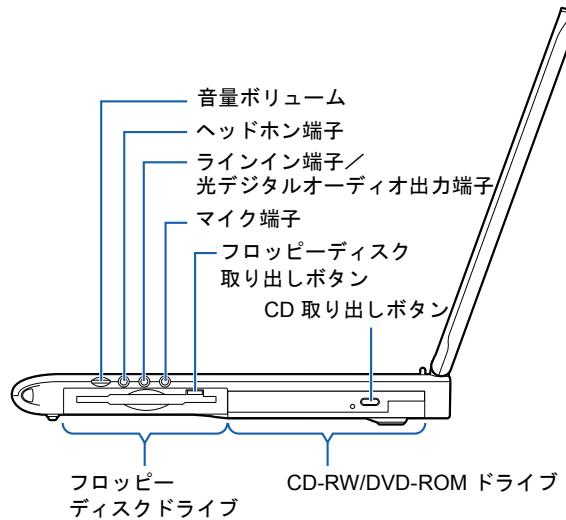
詳しくは、 (サービスアシスタント) の最初の画面 → 「画面で見るマニュアル」 → 「パソコンの使い方」 → 「パソコン本体の基本機能」 → 「各部の名称と働き：パソコン本体前面」をご覧ください。なお、サービスアシスタントを使うには、Windows のセットアップ (⇒ P.24 ~ P.42) が終了している必要があります。

## パソコン本体側面

### パソコン本体左側面

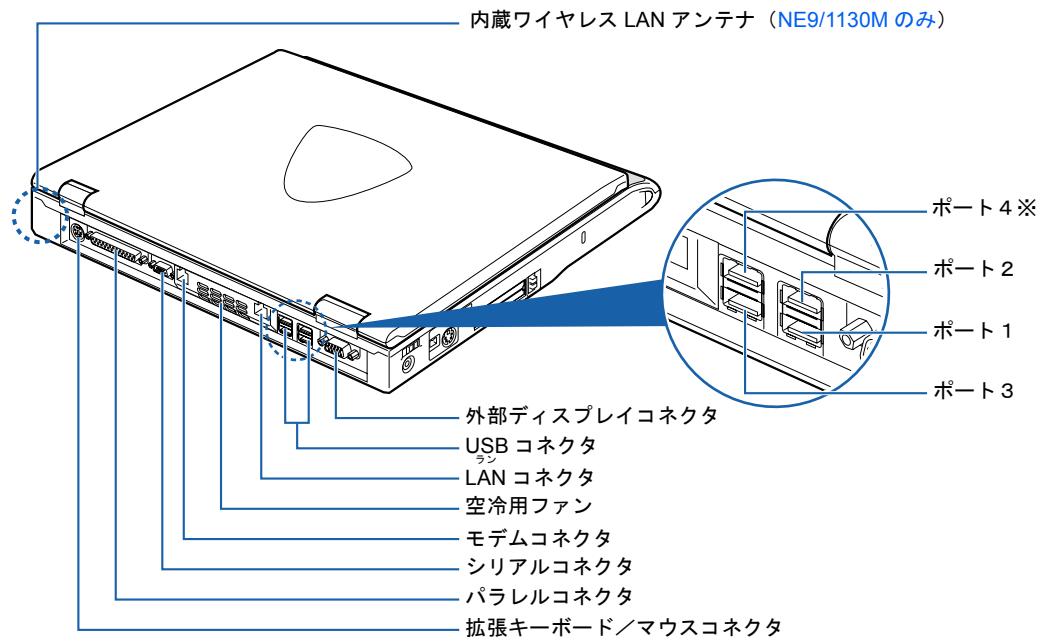


### パソコン本体右側面

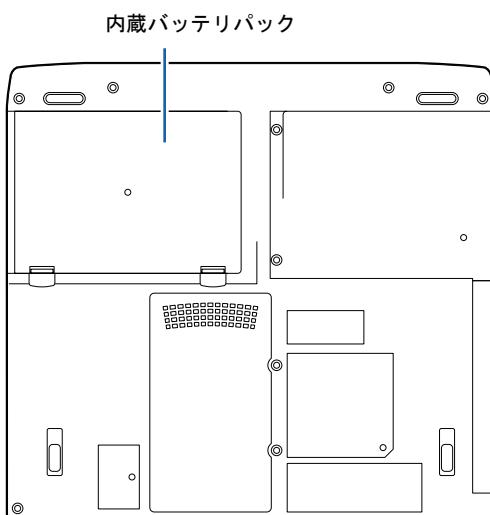


詳しくは、 (サービスアシスタント) の最初の画面 → 「画面で見るマニュアル」 → 「パソコンの使い方」 → 「パソコン本体の基本機能」 → 「各部の名称と働き：パソコン本体側面」をご覧ください。なお、サービスアシスタントを使うには、Windows のセットアップ (…▶P.24 ~ P.42) が終了している必要があります。

## パソコン本体背面

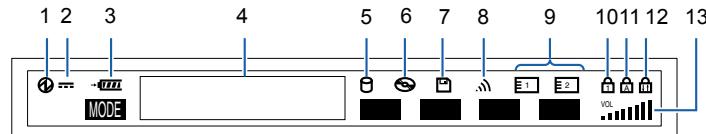


## パソコン本体下面



詳しくは、 (サービスアシスタント) の最初の画面 → 「画面で見るマニュアル」 → 「パソコンの使い方」 → 「パソコン本体の基本機能」 → 「各部の名称と働き：パソコン本体背面」および「各部の名称と働き：パソコン本体下面」をご覧ください。なお、サービスアシスタントを使うには、Windowsのセットアップ (P.24～P.42) が終了している必要があります。

## i-Panel



(イラストは機種や状況により異なります)

**1** サスレス  
SUS/RES 表示 (①)

**2** AC アダプタ表示 (—)

**3** ・バッテリ装着表示 (□)  
・バッテリ充電表示 (→)  
・バッテリ残量表示 (■■■)

**4** メッセージ表示領域

**5** ハードディスクアクセス表示  
(□)

**6** CD アクセス表示 (CD)

**7** フロッピーディスクアクセス表示  
(□)

**8** ブルートゥース™ 接続表示 (Wi-Fi)

(NE9/1130 のみ)

**9** PC カードアクセス表示※  
(□1, □2)

※□1 は下のスロットにセットしている PC カードに、  
□2 は上のスロットにセットしている PC カードにアクセスしているときに点灯します。

**10** Num Lock 表示 (□)

キヤップスロック

**11** Caps Lock 表示 (□)

スクリオールロック

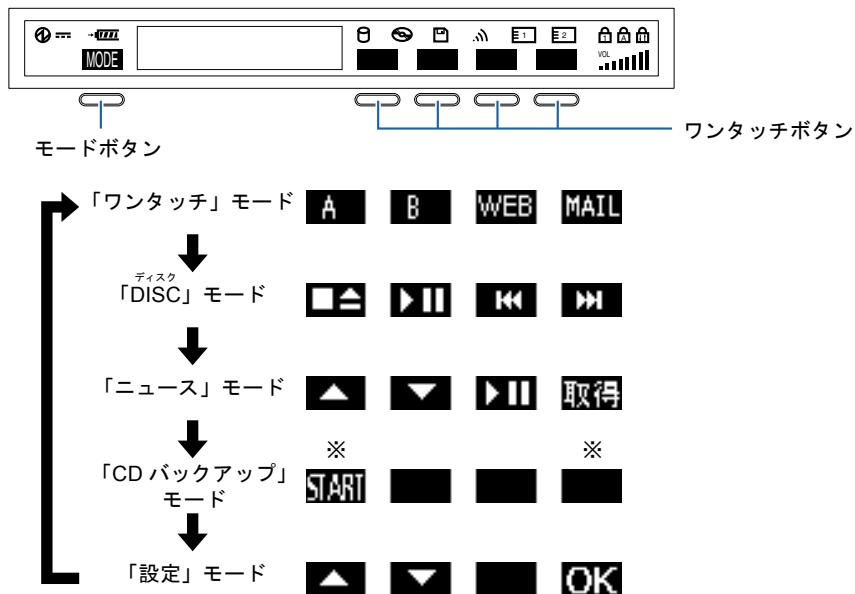
**12** Scroll Lock 表示 (□)

**13** 音量ボリュームレベル表示

詳しくは、 (サービスアシスタント) の最初の画面 → 「画面で見るマニュアル」 → 「パソコンの使い方」 → 「パソコン本体の基本機能」 → 「各部の名称と働き：i-Panel／ワンタッチボタン」をご覧ください。なお、サービスアシスタントを使うには、Windows のセットアップ (P.24 ~ P.42) が終了している必要があります。

## ワンタッチボタン

モードボタンを押すたびにワンタッチボタンのモードが切り替わり、それに合わせてワンタッチボタンの機能も切り替わります。



※状況によって機能表示が消えたり、変わったりします。

詳しくは、**■(サービスアシスタント)** の最初の画面→「画面で見るマニュアル」→「パソコンの使い方」→「パソコン本体の基本機能」→「i-Panel／ワンタッチボタンを使う」をご覧ください。なお、サービスアシスタントを使うには、Windows のセットアップ(…▶P.24 ~ P.42) が終了している必要があります。

**Memo**

---

## 第1章

# 作業を始める前に

最初に確認していただきたいことと、使用上の注意事項などを説明しています。

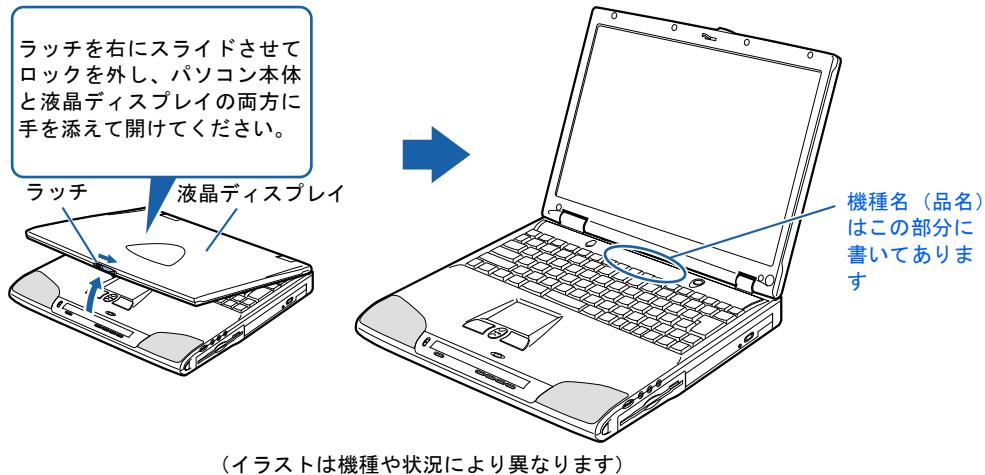
1 確認してください .....	16
2 使用上のお願い .....	17
3 必要なものを揃える .....	19

# 1 確認してください

最初に確認していただきたいことを説明します。

## 機種名を確認してください

お使いの機種によって、マニュアルの読み方が異なります。作業を始める前に、お使いのパソコンの機種名（品名）を確認しましょう。



(イラストは機種や状況により異なります)

## 添付品がすべて揃っているか確認してください

『箱の中身を確認してください』をご覧になり、添付品をもう一度ご確認ください。

もし足りない部品などがあった場合は、できるだけ早く、ご購入元または富士通パソコン診断センターにご連絡ください。富士通パソコン診断センターについては、『富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口』チラシをご覧ください。



(機種により若干異なります)

# 2 使用上のお願い

誤作動や故障の原因となるため、以下のことにご注意ください。

## パソコン本体取り扱い上の注意

- ・衝撃や振動を与えないでください。
- ・分解しないでください。
- ・電源を入れたまま（スタンバイ中を含む）の状態で持ち運ばないでください。
- ・空冷用ファン（P.11）はふさがないでください。パソコン本体に熱がこもり、故障の原因となります。
- ・磁石や磁気ブレスレットなど、磁気の発生するものを近付けないでください。保存しているデータが消えてしまう恐れがあります。
- ・Bluetooth<sup>TM</sup> 機器が発信する電波は、携帯電話の電波と同じように電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では、Bluetooth<sup>TM</sup> 機能を停止してください。  
病院内／電車内／航空機内／ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所／自動ドアや火災報知器の近く／その他、使用規制のある場所など
- ・ワイヤレス LAN が発信する電波は、携帯電話の電波と同じように電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では、ワイヤレス LAN を停止してください。  
病院内／電車内／航空機内／ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所／自動ドアや火災報知器の近く／その他、使用規制のある場所など

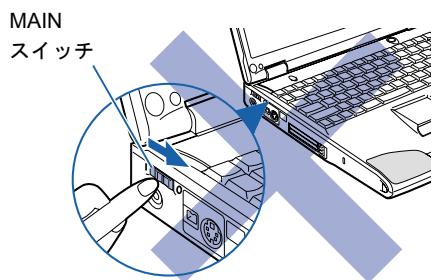
## 使用および保管に適さない場所

- ・極端に高温または低温になる場所  
(本装置の使用環境は 5 °C～35 °C、  
保存環境は -10 °C～60 °C です)
- ・直射日光の当たる場所
- ・衝撃や振動の加わる場所
- ・磁石や磁気ブレスレットなど磁気を  
発生するものの近く
- ・ほこりの多い場所
- ・水など液体のかかる場所
- ・湿度の高い場所



## 電源を切るときの注意

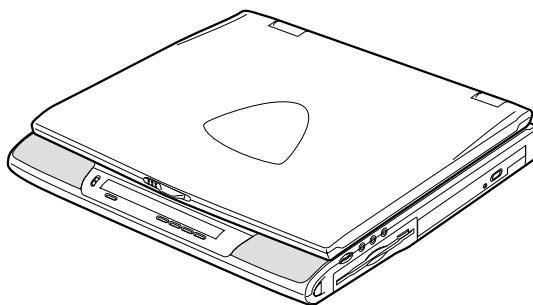
電源を切るときは、いきなり MAIN スイッチを○側にスライドさせないでください。電源の切り方については、「電源の切り方と入れ方」(⇒P.44) をご覧ください。



# 3 必要なものを揃える

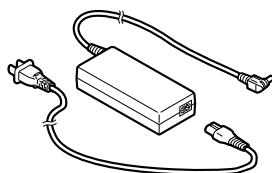
必要なものをあらかじめ揃えてから、第2章へ進みましょう。

## ■パソコン本体



(イラストは機種や状況により異なります)

## ■ACアダプタ



## ■保証書



梱包箱に貼り付けられています。

続いて、電源を入れてパソコンの準備をしましょう (⇒P.22)。

**Memo**

---

# 2

## 第2章

### 電源を入れてパソコンの準備をする

初めてパソコンの電源を入れるとき最初に行う準備について説明しています。このマニュアルの手順どおりに進めてください。

1 初めて電源を入れる .....	22
2 画面を確認する .....	43
3 電源の切り方と入れ方 .....	44
4 通信の回線を接続する .....	51
5 準備が完了したら .....	57

# 1 初めて電源を入れる

## AC アダプタを接続する

ケーブル類は、差し込み口の形状をよく確認して、奥までしっかりと差し込んでください。



警告

- 近くで雷が起きたときは、AC アダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、雷によってはパソコンを破壊し、火災の原因となります。



注意

- 間違えないように接続してください。  
誤った接続状態でお使いになると、パソコン本体が故障する原因となることがあります。

### POINT

#### セットアップ前には周辺機器などは接続しないでください

プリンタやターミナルアダプタ (TA) など、パソコンに添付されていない周辺機器を接続しておくと、初めて電源を入れてから行う操作 (Windows のセットアップ) の途中でパソコンが動かなくなってしまうことがあります。Windows のセットアップが終わった後で、あらためて接続してください。



#### ここでは LAN ケーブルを接続しないでください

LAN ケーブルの接続は Windows のセットアップ終了後に行ってください。LAN ケーブルの接続方法については、 (サービスアシスタント) の最初の画面 → 「画面で見るマニュアル」 → 「パソコンの使い方」 → 「周辺機器を取り付ける」 → 「LAN を使う」をご覧ください。

### POINT

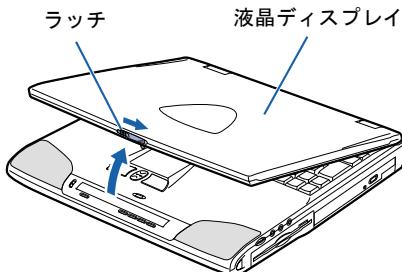
#### AC アダプタは熱くなる場合があります

このパソコンを AC アダプタでお使いになる場合は、AC アダプタが熱くなることがあります、異常ではありません。

次のページへ

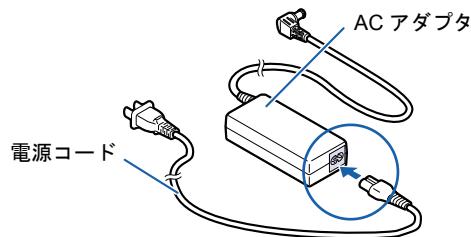
## 1 液晶ディスプレイを開きます。

ラッチを右にスライドさせてロックを外し、パソコン本体と液晶ディスプレイの両方に手を添えて開けてください。

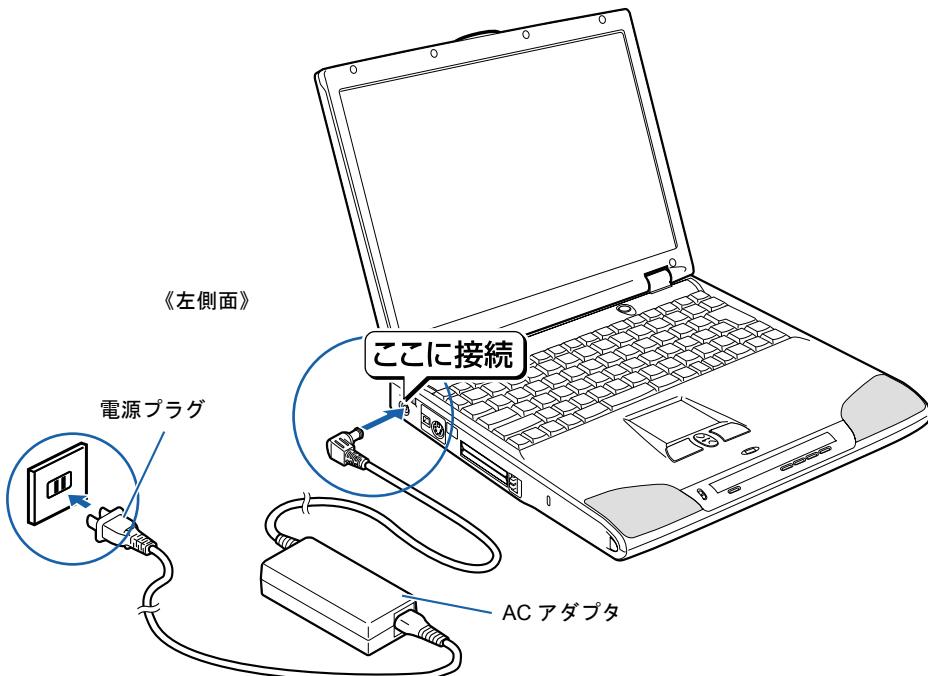


(これ以降のイラストは機種や状況により異なります)

## 2 電源コードを、ACアダプタに接続します。



## 3 ACアダプタを、パソコン本体の左側面に接続します。



## 4 電源プラグを、コンセントに差し込みます。

# 初めて電源を入れる～Windows のセットアップ

初めて電源を入れるときは、Windows のセットアップという作業が必要です。Windows のセットアップとは、初めてパソコンの電源を入れるときに、1回だけ行う操作です。このマニュアルの手順どおりに進めてください。この Windows のセットアップが終わらないと、パソコンは使えるようになりません。

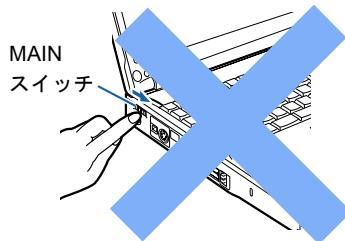
## ■ 重要

### セットアップは途中でやめないでください

セットアップはこのマニュアルに従って最後の手順まで行ってください。

### セットアップが終わるまで電源を切らないでください

Windows のセットアップの途中で電源を切ると、パソコンが故障する原因となります。セットアップが終わるまでは、電源を切らないでください。



### しばらく操作しない

電源を入れた状態でしばらく（約 10 分間）操作しないと、動画（スクリーンセーバー）が表示されたり、画面が真っ暗になったりすることがありますが、電源が切れたわけではありません。これはパソコンの省電力機能が働いている状態です。

フラットポイントの操作面に触れたり、キーボードの や のどれかを押したりすると、元の画面に戻ります。それでも戻らない場合は、SUS/RES スイッチ（）を押してください（4 秒以上押し続けないでください）。

## POINT

### キーボードやフラットポイントで操作できない場合

キーボードやフラットポイントがきかなくなったりした場合は、「使用上のお願い」（）をご覧になり、パソコンを設置している環境を確認してください。それでも操作できない場合は、次の手順に従ってパソコンの電源を入れ直してください。

1. 本体左側面の MAIN スイッチを○側へスライドします。
2. 10 秒以上たってから、MAIN スイッチを両側にスライドします。

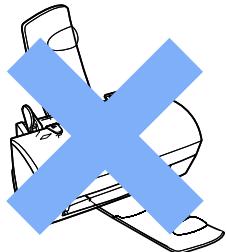
### メッセージが表示された場合

MAIN スイッチを両側に何度も繰り返してスライドすると、「Windows が正しく開始できませんでした」というメッセージが表示されることがあります。次の操作に進むには、「Windows を通常起動する」が選択されていることを確認し、 を押してください。

次のページへ

## 1 AC アダプタ以外に何も接続されていないことを、確認します。

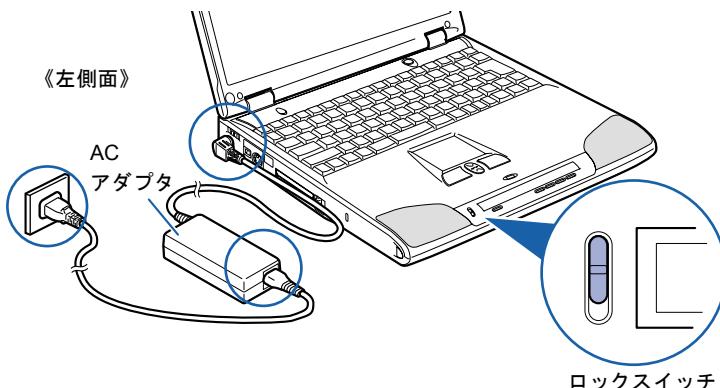
このマニュアルで説明していない添付品や、その他の機器が接続されていると、セットアップの途中でパソコンが動かなくなることがあります。



2

## 2 AC アダプタがきちんと接続されているか、ロックスイッチが上（Lock）になっているか、確認します。

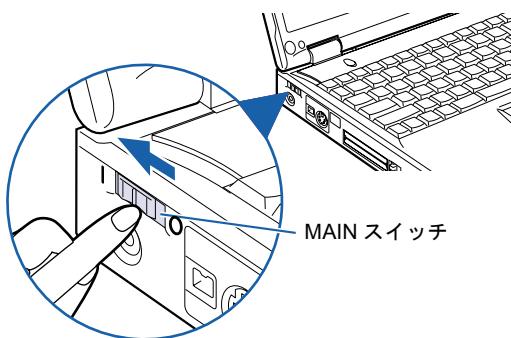
念のため、AC アダプタをもう一度お確かめください。



（これ以降のイラストは機種や状況により異なります）

## 3 電源を入れます。

MAIN スイッチを、| と ○ の、| 側へスライドします。



### そのまましばらくお待ちください

手順 4 の画面が表示されるまで、少し時間がかかることがあります、そのままお待ちください。

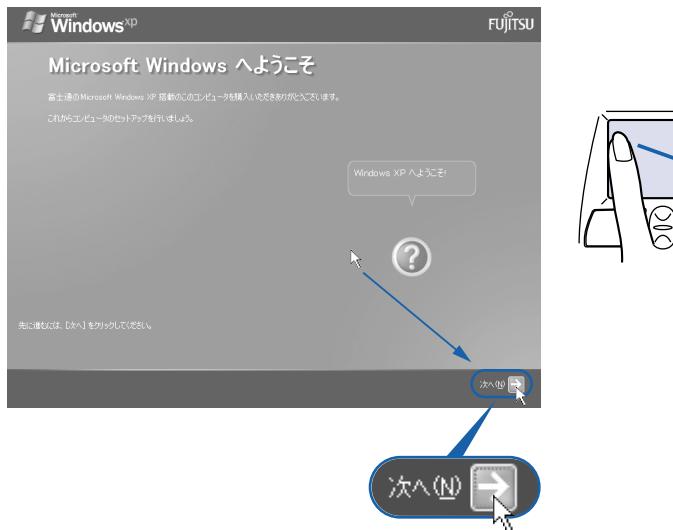
次のページへ

## 4 画面上のを右のに合わせます。

指先で、フラットポイントの操作面をなぞってみましょう。指の動きに合わせて、が画面の上を動きます。

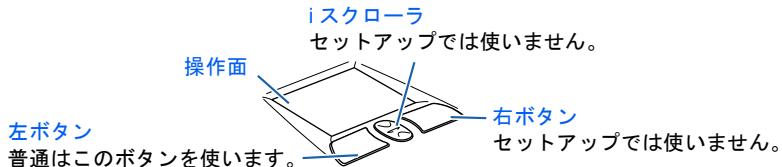
をマウスポインタといいます。

マウスポインタを合わせると、「次へ」の右のの色が薄い緑色に変わります。



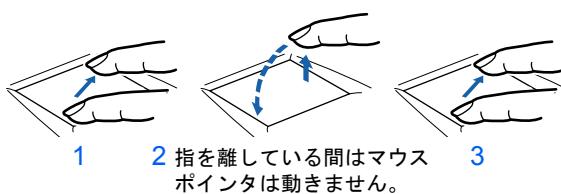
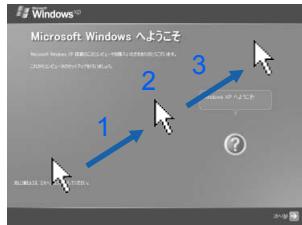
### POINT

#### フラットポイントの各部名称



#### 指が操作面の端まできたら

いったん操作面から指を離して、もう一度別の位置からなぞってください。指を離してもマウスポインタは動きません。



次のページへ

## 5 フラットポイントの左ボタンを軽くカチッと1回押して、すぐ離します。

この操作のことを、「クリック」といいます。



### POINT

#### ボタンは軽く押すだけでOK!

力を入れて押す必要はありません。フラットポイントのボタンはカチッと1回押したら、すぐ指を離すようにします。

#### 操作面を軽くたたいても、クリックになります

フラットポイントは、操作面を軽くたたいてもクリックができます。操作面に指をのせるときに、間違ってクリックしないように注意してください。

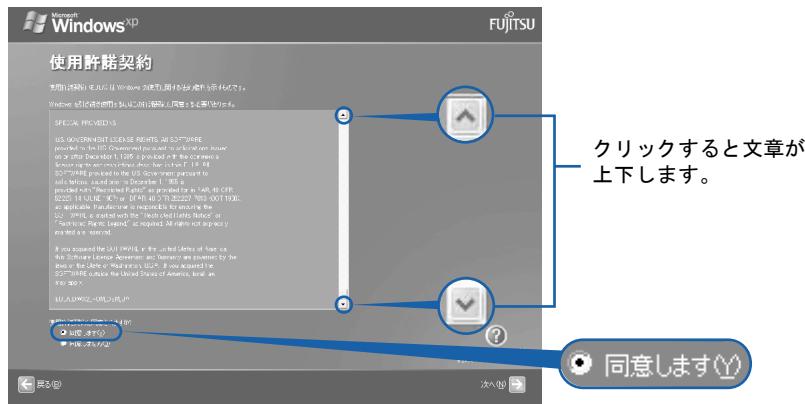


#### うまくクリックできない場合

なるべくボタンの中央部分を押すようにしてください。また、ボタンを押すときや離すときに、マウスの位置がずれないように、気を付けてください。

次のページへ

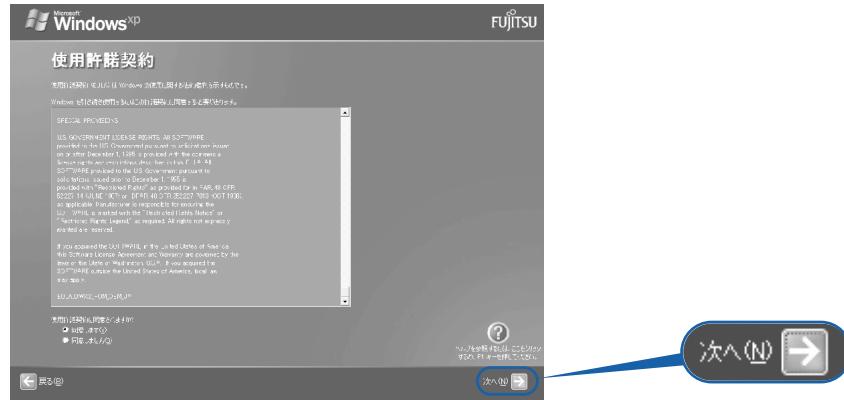
## 6 Windows の使用許諾契約書の内容をご覧になり、ご同意いただけるときは「同意します」をクリックし、○にします。



### 「同意しません」をクリックした場合

使用許諾契約書にご同意いただけないと、このパソコンはお使いになれません。  
元の画面に戻るには、表示された画面で「戻る」の左の◀をクリックしてください。

## 7 「次へ」の右の➡をクリックします。



## 8 「次へ」の右の➡をクリックします。

ここでは何も入力しません。コンピュータの名前は後から入力できます。



次の画面が表示されるまでお待ちください。

次のページへ

## 9 「次へ」の右の➡をクリックします。

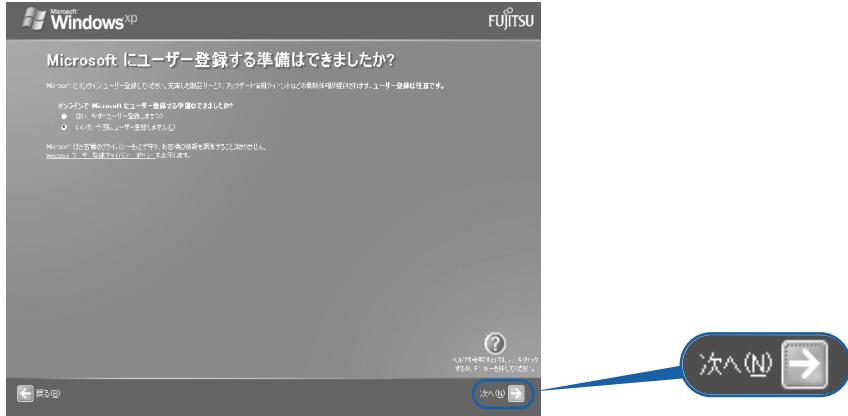


2

## 10 「いいえ、今回はユーザー登録しません」をクリックし、Ⓐにします。



## 11 「次へ」の右の➡をクリックします。



次のページへ

## POINT

「はい、今すぐユーザー登録します」を選択して進んでしまった場合

「ユーザー登録情報を入力してください」という画面で「戻る」の左の  をクリックして、手順 10 からやり直してください。

## 12 「いいえ、今回はインターネットに接続しません」をクリックし、 にします。

インターネット接続の設定は後で行います。ここではインターネットに接続しません。



## 13 「次へ」の右の をクリックします。



## POINT

「はい、インターネットに接続します」を選択して進んでしまった場合

「はじめよう！インターネット」という画面で「戻る」の左の  をクリックして、手順 12 からやり直してください。

次のページへ 

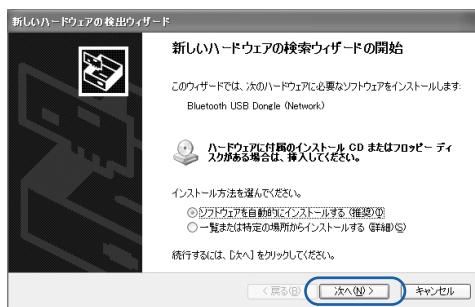
## 14 「完了」の右の□をクリックします。



次の画面が表示されるまで、少し時間がかかることがあります、そのままお待ちください。

Bluetooth™搭載モデルをお使いの方は、手順15へ進んでください。  
それ以外の方は、手順18へ進んでください。

## 15 「新しいハードウェアの検出」の画面が表示されたら「次へ」をクリックします。



## 16 「続行」をクリックします。



次のページへ

## 17 「完了」をクリックします。



## 18 「スタート」ボタンをクリックします。



## 19 必ず実行してください をクリックします。

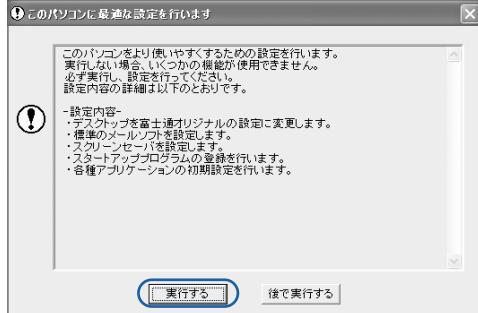
 必ず実行してください は、パソコンの初期設定を行うプログラムです。以降の手順は最後まで必ず実行してください。実行しないと、パソコンが正常に動作しません。



(これ以降の画面は状況により異なります)

次のページへ 

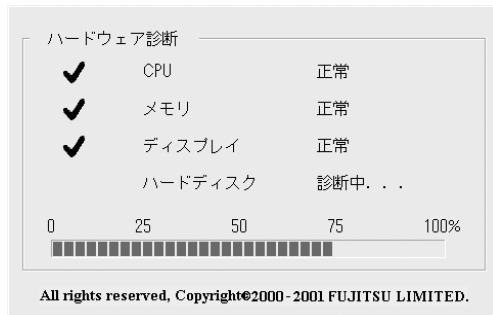
## 20 「実行する」をクリックします。



2

## 21 ハードウェア診断が始まり、次の画面が表示されます。手順 22 の画面が表示されるまで、そのままお待ちください。

途中、ディスプレイを診断する画面なども表示されます。

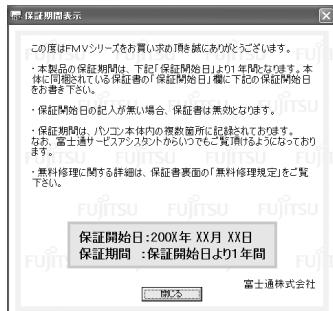


### 重要

#### ハードウェア不良の画面が表示された場合

画面の指示に従ってください。

## 22 この画面が表示されたら、保証書を用意します。



保証書は梱包箱に貼り付けられています。

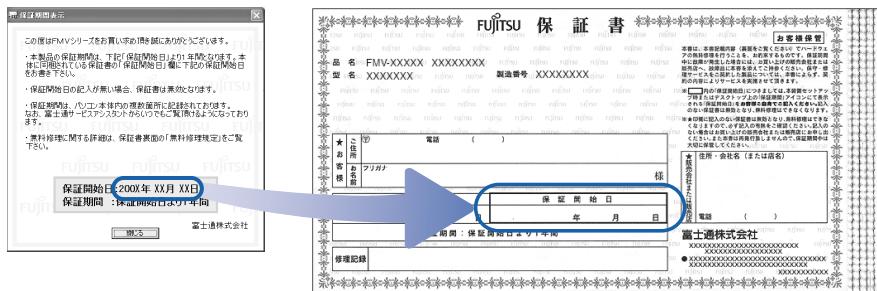


次のページへ

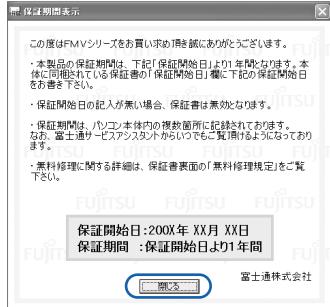
## 23 画面に表示された保証開始日を、保証書に書き写します。

保証書に保証開始日が記入されていないと、**保証期間内であっても有償**での修理となります。

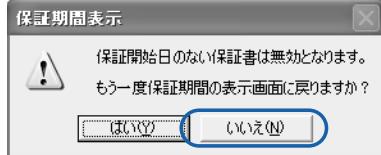
保証書は大切に保管してください。



## 24 「閉じる」をクリックします。

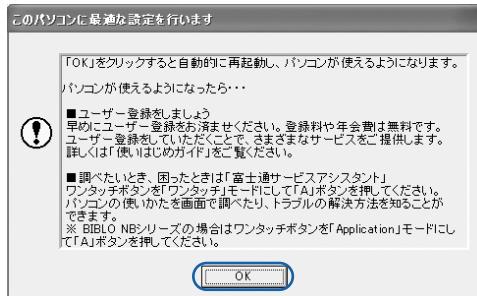


## 25 「いいえ」をクリックします。



## 26 「OK」をクリックします。

画面が暗くなり、再び表示されます（再起動します）。



次の画面が表示されるまで、少し時間がかかることがあります、そのままお待ちください。

次のページへ

## 27 画面が表示されたことを確認します。

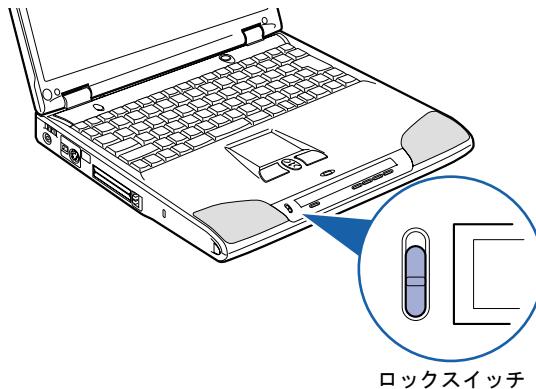


2

サービスアシスタントの起動方法を覚えましょう。

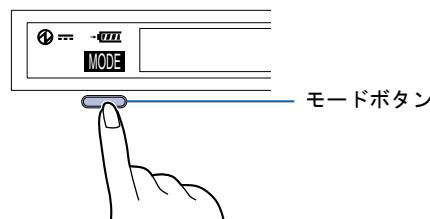
サービスアシスタントは、わからないことがあったとき、困ったときに活用してください。

## 28 ロックスイッチを下側にスライドします。



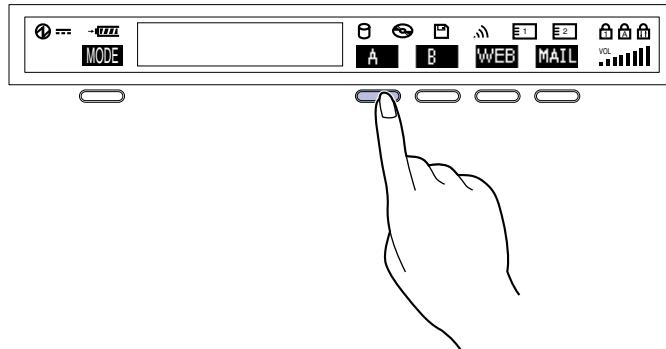
ロックスイッチ

## 29 モードボタンを何回か押して、「ワンタッチ」モード (⇒P.13) にします。



次のページへ

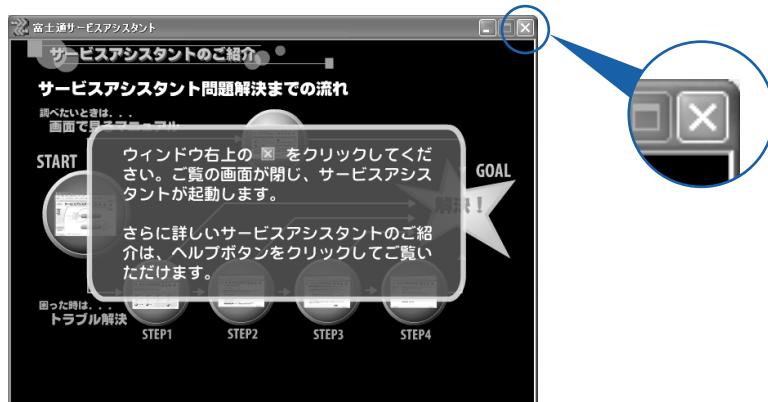
## 30 ワンタッチボタンの「A」ボタンを押します。



## 31 「サービスアシスタントのご紹介」を手順 32 の画面が表示されるまでしばらくの間ご覧ください。

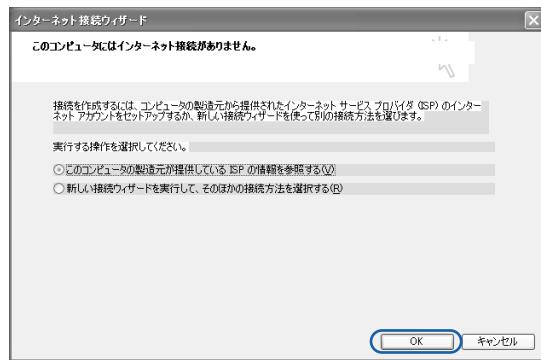
「サービスアシスタント」について、音声と映像で説明しています。

## 32 次の画面が表示されたら、**X**をクリックします。



## 33 「OK」をクリックします。

インターネット接続の設定は後で行います。ここではインターネットに接続しません。



次のページへ

@nifty を紹介する画面が表示されます。@nifty への入会については、『使いはじめガイド』をご覧になり、後で入会手続きを行ってください。



### 34 ウィンドウの右上にある[X]をクリックします。



サービスアシスタントが起動します。



### 35 サービスアシスタントのトップ画面で「終了」をクリックします。



次のページへ

## 36 「はい」をクリックします。



サービスアシスタントが終了します。



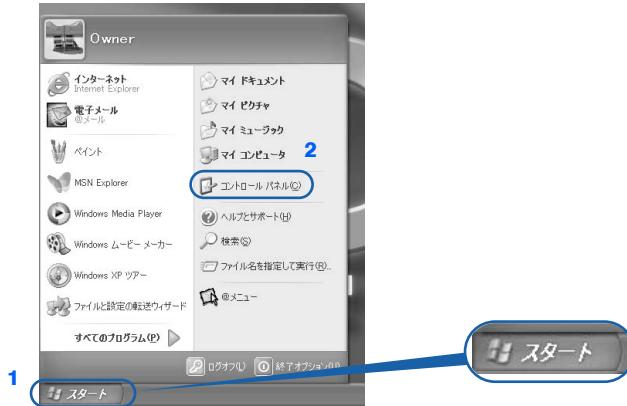
### これ以降サービスアシスタントを起動するには

「ワントッチ」モードに切り替えた後、「A」ボタンを押してください。手順 32 ~ 34 は、サービスアシスタントを初めて起動したときだけ行います。

### この後、続けて操作を行ってください

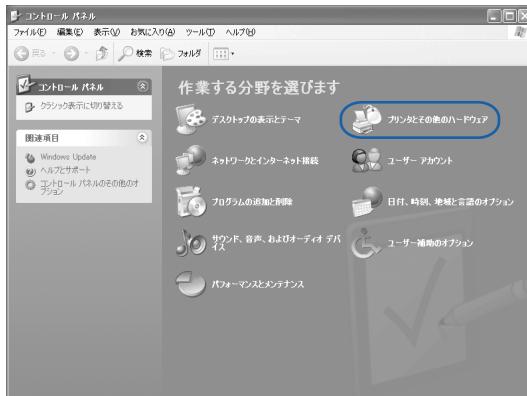
この後の電話回線の設定は、インターネットに接続するときなどに必要になります。このまま手順を最後まで続けてください。

## 37 1「スタート」ボタン→2「コントロールパネル」の順にクリックします。



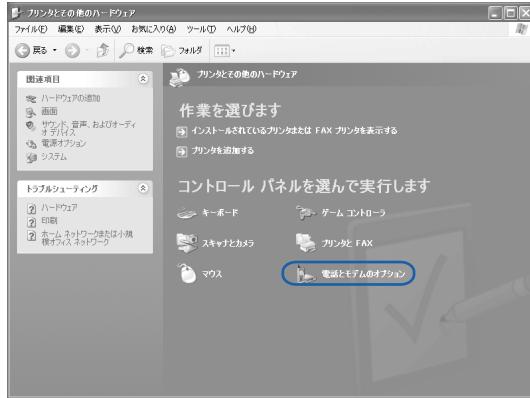
(これ以降の画面は、機種や状況により異なります)

## 38 (プリントとその他のハードウェア) をクリックします。



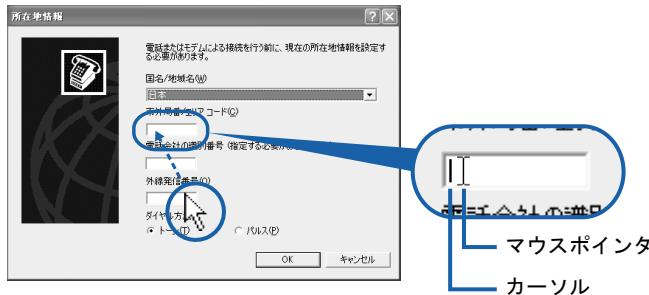
次のページへ

## 39 (電話とモデムのオプション) をクリックします。



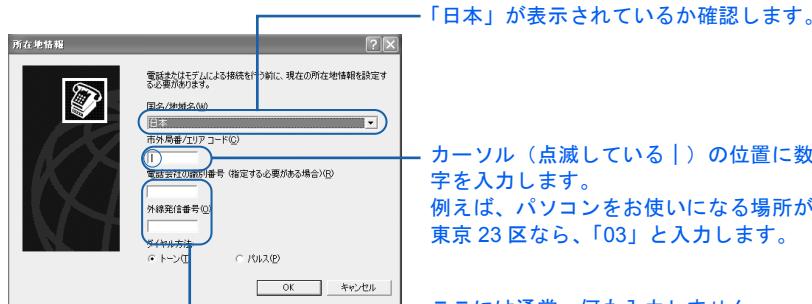
2

## 40 「市外局番」の下の空欄にを合わせ、に変わったらクリックします。 クリックすると文字を入力するためのカーソル ( | ) が点滅して表示されます。



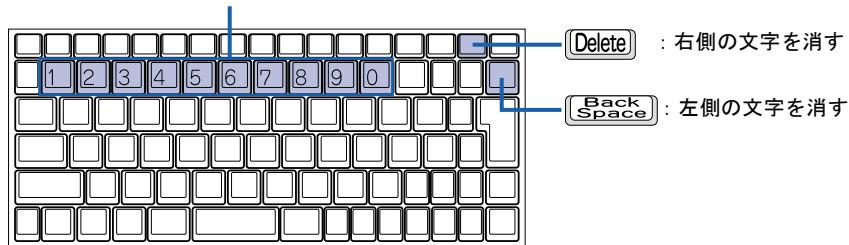
次のページへ

## 41 パソコンをお使いになる場所の市外局番を入力します。



ここには通常、何も入力しません。  
外線発信番号は、会社やホテルなどから通信するときのみ必要です。

数字キーで入力します。



### POINT

#### 数字が入力できない場合

市外局番の欄にカーソル（|）が点滅していることを確認してください。  
カーソル（|）がない場合は、入力したい欄をクリックしてカーソルを表示させます。

#### 文字を消したい場合

カーソル（|）の左側の 1 文字を消すには： **Back Space** を押します。  
カーソル（|）の右側の 1 文字を消すには： **Delete** を押します。

#### 「入力した文字が無効です」と表示された場合

画面右下が になっていない場合は、**半角/全角** を押します。

#### 次の画面に進んでしまった場合

「編集」をクリックし、市外局番を入力した後、次の手順に進んでください。手順 43 までは画面が異なりますが、手順に従って、該当する項目を操作してください。

次のページへ

## 42 ダイヤル方法を設定します。

2



インターネットなどに使う電話回線のダイヤル方法を設定します。詳しくは、次のPOINTをご覧ください。

回線の種類がわからない場合は、「トーン」をクリックしてください。

### POINT

#### 一般的の電話回線を使う場合

ダイヤル方法は次の方法で確認します。

ダイヤル式電話機をお使いの場合



プッシュ式電話機をお使いの場合



「0を数回」ダイヤルすると…



「ブツブツブツ」と音がする  
お使いのダイヤル方法は  
「パルス」です。



「ピッポッパッ」と音がする  
お使いのダイヤル方法は  
「トーン」です。

#### ISDN回線や携帯電話／PHSをお使いになる場合

ダイヤル方法は、「トーン」です。

#### どうしても電話回線のダイヤル方法がわからない場合

直接NTTにお問い合わせください。

なお、次のサービスをお使いの場合はうまく通信できないことがあります。

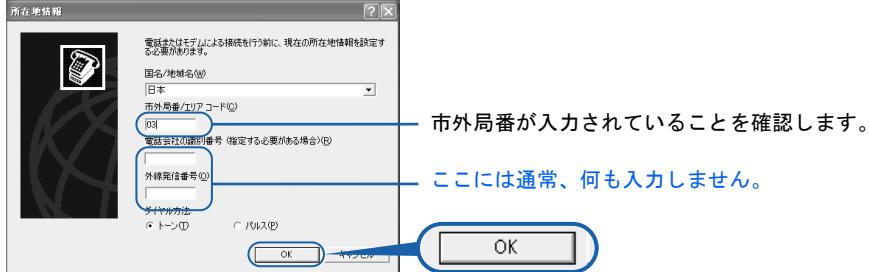
- ・ホーム電話
- ・キャッチホン
- ・ビジネスホン

#### 設定した市外局番や電話回線を変えたい場合

1. 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」の順にクリックします。  
「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。
2. 「プリンタとその他のハードウェア」→「電話とモデムのオプション」の順にクリックします。
3. 「ダイヤル情報」タブの設定を変更します。
4. 「OK」をクリックします。
5. 「プリンタとその他のハードウェア」ウィンドウの[X]をクリックします。

次のページへ

## 43 正しく入力できているか確認し、「OK」をクリックします。



## 44 「OK」をクリックします。



## 45 「プリンタとその他のハードウェア」ウィンドウの[X]をクリックします。



これで Windows のセットアップは終わりです。

### POINT

#### アプリケーションを使い始めるには

- Office XP Personal はインストール済ですので、すぐにお使いになります。
- アプリケーションは、@メニューから起動してください (@メニューには、「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」から起動できないアプリケーションも登録されています)。  
詳しくは、『使いはじめガイド』→「使いはじめ編」→「このパソコンでできることを調べる」→「アプリケーションの起動方法について」をご覧ください。

続いて、パソコンの画面を見てみましょう (◆P.43)。

# 2 画面を確認する

ここでは、パソコンの基本的な操作に必要な画面の各部名称を紹介するので、覚えてください。

パソコンの画面全体を「デスクトップ」といい、その中の「「スタート」ボタン」などをクリックして操作します。



## POINT

「スタート」ボタンをクリックして ! 必ず実行してください がないことを確認してください

「スタート」メニューに ! 必ず実行してください がある場合は、すべてのアプリケーションを終了後、「初めて電源を入れる～Windows のセットアップ」の手順 18～27 (⇒P.32) をご覧になり、操作を行ってください。行わないと、パソコンが正常に動作しません。

続いて、電源の切り方と入れ方を覚えましょう (⇒P.44)。

# 3 電源の切り方と入れ方

電源の切り方と入れ方はとても重要です。正しい方法を覚えてください。



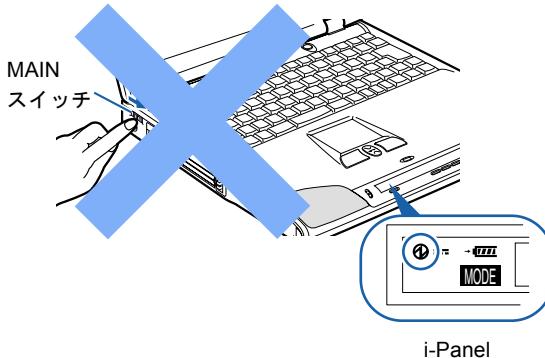
- ・ フロッピーディスクや CD や DVD を取り出す場合は、フロッピーディスクドライブの差し込み口や CD/DVD ドライブのトレーに指などを入れないでください。けがの原因となることがあります。

## 電源を切る



### 電源を切るときの注意

- ・ 必ず、次の手順で Windows の終了処理を行ってください。Windows の終了処理を行うと、自動的に電源が切れます。
- ・ i-Panel に ① が点灯または点滅しているときは、MAIN スイッチを〇側にスライドしないでください。



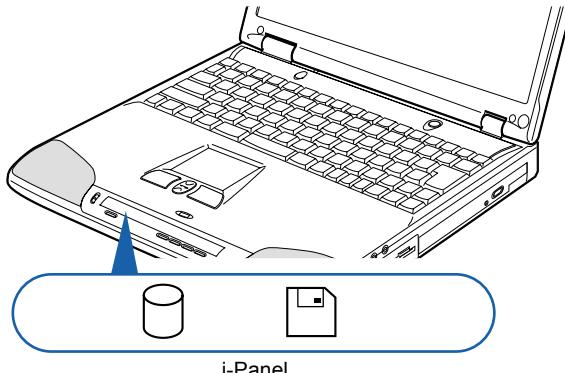
### 1 それまで行っていた作業を終了します。

アプリケーションなどを起動している場合は、作業中のデータを保存し、アプリケーションを終了します。

例えばワープロソフトを使って文書を作成中の場合は、文書データを保存し、ワープロソフトを終了します。

次のページへ

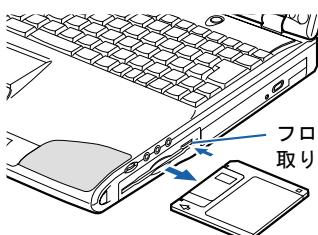
**2** アイパネル  
i-Panel の  や  が点灯していないことを確認します。



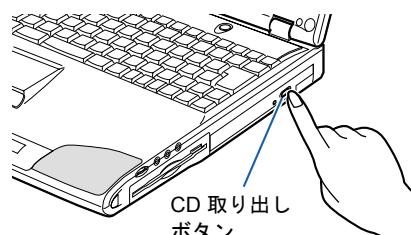
(これ以降のイラストは機種や状況により異なります)

**3** フロッピーディスクや CD、DVD を取り出します。

セットされているときは取り出します。



フロッピーディスクの取り出し方



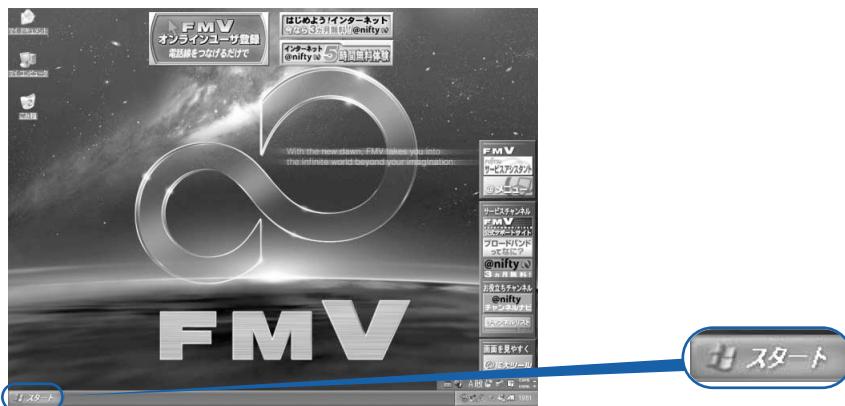
CD や DVD の取り出し方

 **POINT**

**CD や DVD を入れたままだと**

パソコンの電源を切ってしまうと、CD や DVD は取り出せません。

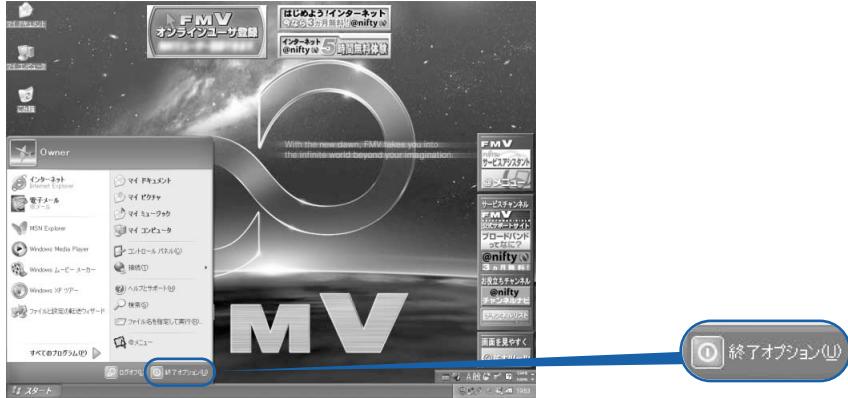
**4** 「スタート」ボタンをクリックします。



(これ以降の画面は、機種や状況により異なります)

次のページへ

## 5 「終了オプション」をクリックします。



## 6 「電源を切る」をクリックします。



しばらくすると、Windows が終了し、パソコンの電源が自動的に切れます。

### POINT

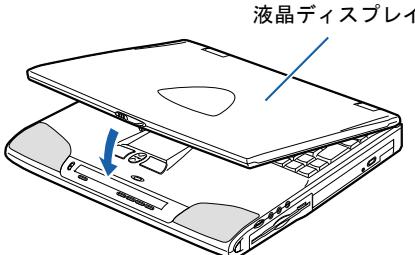
#### 電源が切れない場合

パソコンが動かなくなり（フラットポイントやキーボードが操作できないなど）、電源が切れないとときは、次のように操作してください。

【Ctrl】と【Alt】を押しながら【Delete】を押してアプリケーションを強制終了し、その後で電源を切ってください。アプリケーションの強制終了については、□『トラブル解決ガイド』→「Q&A集」→「動かない」→「Q 操作中に画面が動かなくなった」をご覧ください。

強制終了もできないときは、パソコン本体左側面の MAIN スイッチを○側へスライドさせて、強制的に電源を切ってください。

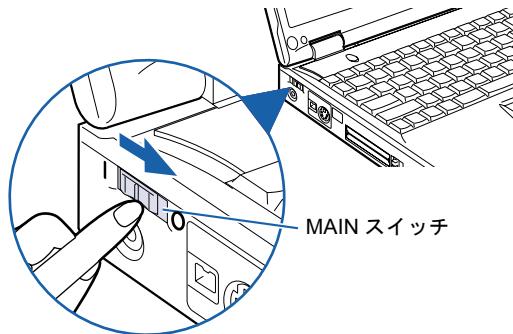
## 7 液晶ディスプレイを閉じます。



次のページへ

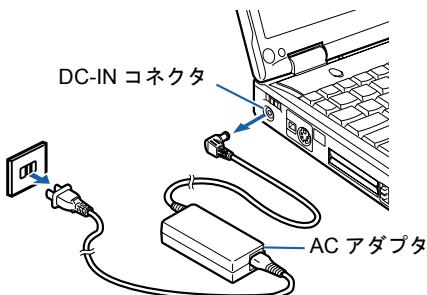
## 次の場合は MAIN スイッチを切って（○側にスライドさせて）ください

- ・パソコン本体を持ち運ぶとき
- ・周辺機器の取り付けや取り外しをするとき
- ・節電したいとき
- ・パソコンを長時間使わないとき



## AC アダプタを取り外すには

パソコン本体を持ち運ぶときやパソコンを長時間使わないときは、MAIN スイッチを切った後、AC アダプタの電源プラグをコンセントから抜き、AC アダプタを DC-IN コネクタから取り外します。MAIN スイッチを切らずに AC アダプタを取り外すと、少しずつですがバッテリを消耗しますので注意してください。



## パソコン使用中に AC アダプタを取り外すときの注意

パソコンを使っている途中で AC アダプタを取り外し、バッテリでパソコンを使うときは、バッテリが充電されているか確認してください。

確認方法については、（サービスアシスタント）の最初の画面→「画面で見るマニュアル」→「パソコンの使い方」→「パソコン本体の基本機能」→「バッテリで使う」→「バッテリ残量を確認する」をご覧ください。

## パソコン使っていないときにバッテリを充電するには

パソコン使っていないときにバッテリを充電するには、電源を切った後、AC アダプタを取り付けたままにしてください。MAIN スイッチは入っていても切っていてもかまいません。

続いて、電源の入れ方を覚えましょう（P48）。

# 電源を入れる

## 重要

### 電源を入れるときの注意

- ・電源を切った後は、次に電源を入れ直すまで10秒ほどお待ちください。
- ・電源が入っている状態で、持ち運んだり、衝撃を与えたりしないでください。
- ・パソコンを長時間お使いになる場合は、必ずACアダプタを取り付けてください。

### バッテリで使うときの注意

以下の場合は、バッテリが充電されていないことがあります。バッテリ残量を確認し、必要に応じてバッテリを充電してください。

- ・パソコンをご購入のとき
- ・約1ヶ月以上充電していないとき

詳しくは、 (サービスアシスタント) の最初の画面→「画面で見るマニュアル」→「パソコンの使い方」→「パソコン本体の基本機能」→「バッテリで使う」をご覧ください。

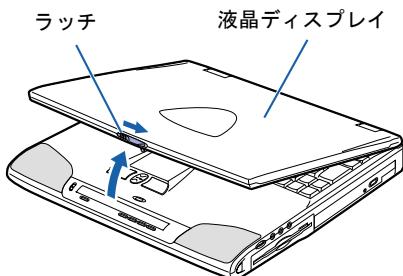
## 1 ACアダプタを取り付けます。

「ACアダプタを接続する」(☞P.22)

バッテリで使う場合は取り付ける必要はありません。

## 2 液晶ディスプレイを開きます。

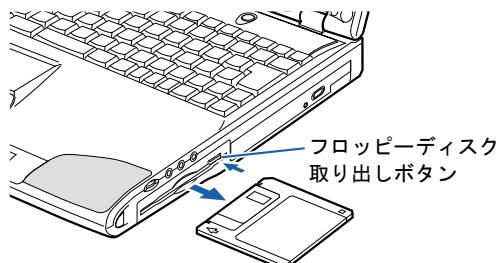
前面のラッチを右にスライドしてロックを外し、パソコン本体に手を添えて液晶ディスプレイを持ち上げます。



(これ以降のイラストは機種や状況により異なります)

## 3 フロッピーディスクがセットされていないことを確認します。

フロッピーディスクがセットされている場合は、フロッピーディスク取り出しボタンを押して、取り出します。



次のページへ

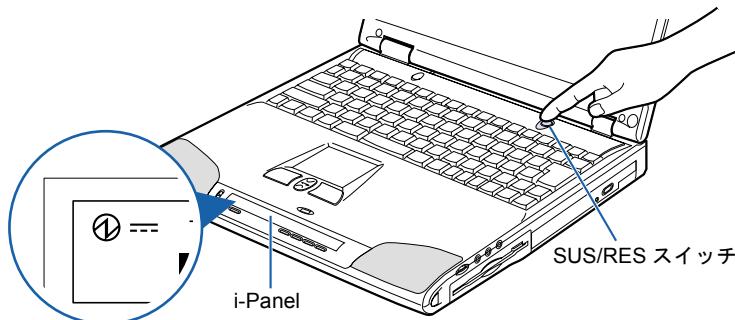
 **POINT**

フロッピーディスクを入れたままだと

パソコンの電源を入れたときにエラーメッセージが表示されることがあります。

エラーメッセージが表示されたときは、フロッピーディスクを取り出して、[Enter] を押してください。

**4 SUS/RES スイッチを押します。**



i-Panel に  が表示されます。

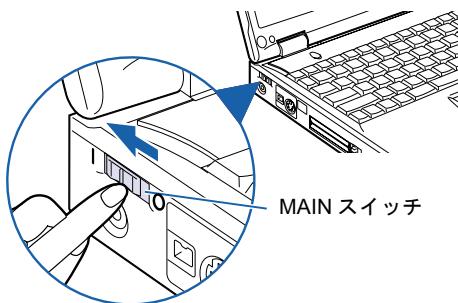
 **重要**

**電源が入っているときは SUS/RES スイッチは 4 秒以上押さないでください**  
SUS/RES スイッチを 4 秒以上押し続けると、パソコンの電源が切れ、作成中のデータが失われことがあります。

 **POINT**

MAIN スイッチを切っている場合

MAIN スイッチを切っている（○側にスライドしている）ときは、MAIN スイッチを | 側にスライドして電源を入れてください。



次のページへ 

このような画面が表示されたことを確認します。



(画面は機種や状況により異なります)

## POINT

### Windows が起動しない場合

電源を入れても Windows が起動しないときは、AC アダプタが正しく取り付けられているかを確認してください。

「AC アダプタを接続する」(☞P.22)

以上の点を確認しても Windows が起動しない場合は、☞『トラブル解決ガイド』→「Q & A 集」→「動かない」をご覧ください。

続いて、通信の回線を接続しましょう (☞P.51)。

# 4 通信の回線を接続する

このパソコンでインターネットを利用するためには、回線接続などの準備が必要です。準備が完了したら、ユーザー登録をしてください。詳しくは、□『使いはじめガイド』→「使いはじめ編」→「ユーザー登録をする」をご覧ください。

## こんな方法があります

次の方法でインターネットに接続することができます。ご自分に合った方法を選んでください。それぞれの接続や設定方法については、参照先のページをご覧ください。

### 一般の電話回線を使う

一般に使われている電話回線を使う方法です。このパソコンに内蔵されているモデムと、添付のモジュラーケーブルを使って接続できます。詳しくは、「一般の電話回線を使う場合」(⇒P.52)をご覧ください。

### ISDN回線を使う

ISDN回線を使う方法です。一般的電話回線に比べて、高速で安定した通信ができます。ISDN回線を使うには、市販のDSU(ディーエスユー)およびターミナルアダプタ(TA)という装置が必要です。また、NTTへの申し込みが必要です。詳しくは、「ISDN回線を使う場合」(⇒P.55)をご覧ください。

### 携帯電話／PHSを使う

パソコンに携帯電話やPHSをつなげてインターネットに接続する方法です。携帯電話／PHS本体のほかに接続用USBケーブルが必要です。詳しくは、「携帯電話／PHSを使う場合」(⇒P.56)をご覧ください。

上記以外にも、次の方法をご利用いただけます。

- ・ケーブルテレビ(CATV)
- ・ADSL
- ・ワイヤレスステーション(Bluetooth<sup>TM</sup>対応)

ケーブルテレビ、ADSLについては、□(サービスアシスタント)の最初の画面→「画面で見るマニュアル」→「FMVでインターネット」をご覧ください。

ワイヤレスステーション(Bluetooth<sup>TM</sup>対応)については、□(サービスアシスタント)の最初の画面→「画面で見るマニュアル」→「パソコンの使い方」→「パソコン本体の基本機能」→「Bluetooth<sup>TM</sup>を使う」をご覧ください。

#### POINT

##### ケーブルテレビ(CATV)、ADSL、ワイヤレスステーション(Bluetooth<sup>TM</sup>対応)の場合

これらの方法では「FMVオンラインユーザー登録」はできません。このパソコンに内蔵されているモデムを使って、一般的電話回線でユーザー登録をしてください。

# 一般の電話回線を使う場合

パソコンに内蔵されているモデムと、添付のモジュラーケーブルを使って、一般の電話回線と接続する方法です。

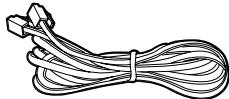
## モデム名

このパソコンの内蔵モデムは「Lucent Technologies Soft Modem AMR」です。画面上でモデム名を選ぶ際は、このモデムを選んでください。

## 必要なものを用意する

次のものを用意してください。

### ■モジュラーケーブル（電話線）



## 電話回線を接続する

次の方法で添付のモジュラーケーブル（電話線）をパソコン本体に接続します。



**注意**



- 電話回線の差し込み口（モジュラージャック）に指などを入れないでください。  
感電の原因となることがあります。
- モジュラーケーブルを接続する場合は、必ずモデムコネクタに接続してください。故障の原因となることがあります。

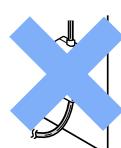
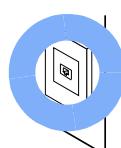
### 重要

#### 電話回線の差し込み口を確認してください

ローゼット式の場合は、モジュラー式の差し込み口への変更が必要です。モジュラー式に変更する場合は、工事担任者またはその監督の下で作業を行ってください。また、最寄りの NTT の営業所または支店へ変更工事を依頼することもできます。

モジュラー式

ローゼット式



#### 通信回線の種類を確認してください

接続する前に、通信回線が一般的な電話回線（アナログ回線）であることを確認してください。

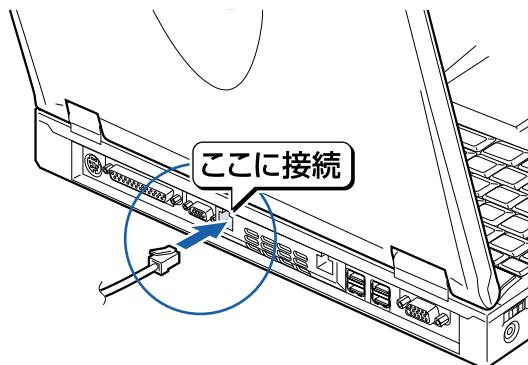
#### 一般的な電話回線接続時の注意

モジュラーケーブル（電話線）を LAN コネクタに接続しないでください。故障の原因となることがあります。

次のページへ

- 1** 添付のモジュラーケーブルを、パソコン本体背面にあるモデムコネクタに差し込みます。

カチッと音がするまで差し込んでください。



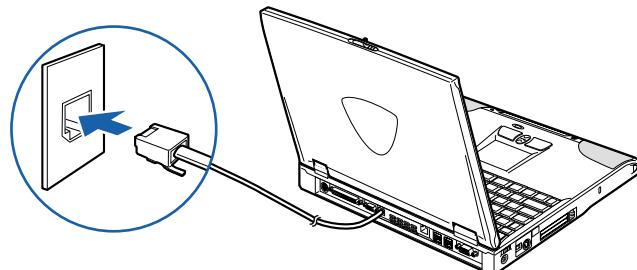
2

- 2** お使いになっている電話機のモジュラーケーブルを、電話回線の差し込み口から外します。



- 3** モジュラーケーブルを、電話回線の差し込み口に接続します。

パソコン本体に接続したモジュラーケーブルの反対側を差し込みます。



次のページへ

## POINT

### インターネットをしている間は電話が使えません

電話機のモジュラーケーブルを取り外している間は、電話機が使えません。インターネットが終わったら、忘れずにモジュラーケーブルを差し替えてください。

### モジュラーケーブル使用上の注意

- ・モジュラーケーブルは家電製品などの近くを経由させたり束ねて利用したりすると、うまく通信できないことがあります。
- ・添付のモジュラーケーブルがパソコンの設置場所から電話回線の差し込み口まで届かない場合は、市販品をご購入ください。ただし、モジュラーケーブルを長くすると、回線速度が低下したり、うまく通信できないことがあります。
- ・モジュラーケーブル（電話線）を LAN コネクタに接続しないでください。故障の原因となることがあります。

準備が完了したら、『使いはじめガイド』をご覧になり、ユーザー登録をしてください。インターネットについては、（サービスアシスタント）の最初の画面→「画面で見るマニュアル」→「FMVでインターネット」をご覧ください。

## ISDN 回線を使う場合

一般の電話回線に比べて、高速で安定した通信ができる電話回線を使って、インターネットに接続する方法です。

ISDN 回線を利用するためには、NTT への申し込みが必要です。

また、同時に電話回線の工事が必要となります（詳しくは、お近くの NTT にお問い合わせください。なお、ISDN 回線利用申し込みと同時に、工事の申し込みとなります）。

### 必要なものを用意する

次のものを用意してください。

#### ■ DSU

#### ■ ターミナルアダプタ (TA)

#### ■ 専用ケーブル



注意



- ISDN 回線などのデジタル回線の差し込み口（モジュラージャック）に指などを入れないでください。  
感電の原因となることがあります。
- このパソコンを ISDN 回線などのデジタル回線に直接接続しないでください。  
火災・故障の原因となることがあります。必ず DSU および TA、もしくは DSU 内蔵 TA を経由して接続してください。

#### 重要

#### 接続時の注意

モジュラーケーブル（電話線）を接続する場合は、LAN コネクタに接続しないでください。

### 1 パソコンと DSU、TA を ISDN 回線に接続します。

ISDN 回線ではパソコンの内蔵モ뎀の代わりに TA を使います。DSU を内蔵した TA も発売されていますので、こちらを使うと、配線や接続が楽になります。

詳しい接続方法については、お使いの TA のマニュアルをご覧ください。

### 2 TA のドライバをインストールします。

パソコンに、TA を使うためのソフトウェア（ドライバ）をインストールします。このパソコンで TA を使うには、ドライバがお使いの Windows に対応している必要があります。

詳しくは、お使いの TA のマニュアルをご覧ください。

準備が完了したら、『使いはじめガイド』をご覧になり、ユーザー登録をしてください。インターネットについては、（サービスアシスタント）の最初の画面→「画面で見るマニュアル」→「FMV でインターネット」をご覧ください。

## 携帯電話／PHS を使う場合

携帯電話／PHS と別売の接続用 USB ケーブルを使ってインターネットに接続する方法です。携帯電話／PHS をお持ちでない方は、携帯電話／PHS を購入し、移動体通信業者と別途契約する必要があります。

### 必要なものを用意する

お使いの携帯電話や PHS に対応したケーブルを用意してください。

#### ■デジタル携帯電話またはPIAFS（ピアフ）対応のPHS

お使いになれる機種については、富士通パソコン情報サイト FMWORLD.NET (<http://www.fmworld.net/>) にてご案内します。

#### ■携帯電話／PHS 接続用 USB ケーブル

携帯電話接続用 USB ケーブル	デジタル携帯電話とパソコンを接続する場合は、別売の FMV-CBL11S または FMV-CBL101 をお使いください。
PHS 接続用 USB ケーブル	PIAFS（ピアフ）対応の PHS とパソコンを接続する場合は、別売の FMV-CBL12S または FMV-CBL102 をお使いください。
PHS 接続用 USB ケーブル (H" 対応)	DDI ポケットの H" などの対応電話機とパソコンを接続する場合は、別売の FMV-CBL103 をお使いください。
cdmaOne 接続用 USB ケーブル	cdmaOne 方式の携帯電話とパソコンを接続する場合は、別売の FMV-CBL104 をお使いください。

#### ■◎「アプリケーション CD2」

接続用 USB ケーブルのドライバをインストールするときに使います。また、接続用 USB ケーブルを使うときの注意事項が入っています。

#### POINT

##### 上記以外のケーブルをお使いになる場合

必ずケーブルのマニュアルをご覧ください。

##### PIAFS（ピアフ）

PHS Internet Access Forum Standard の略で、PHS によるデジタルデータ通信の標準規格です。PHS のデジタル通信回線 (32/64Kbps) を利用して通信が行えます。

なお、通信事業者によって、64Kbps で通信する場合の方式（ベストエフォート方式とギャランティ方式）が異なり、プロバイダやパソコン通信会社のアクセスポイントや端末も PIAFS のそれぞれの方式に対応している必要があります。

携帯電話や PHS を接続する方法については、（サービスアシスタント）の最初の画面→「画面で見るマニュアル」→「パソコンの使い方」→「周辺機器を取り付ける」→「携帯電話や PHS を接続する」をご覧ください。

準備が完了したら、『使いはじめガイド』をご覧になり、ユーザー登録をしてください。インターネットについては、（サービスアシスタント）の最初の画面→「画面で見るマニュアル」→「FMV でインターネット」をご覧ください。

# 5 準備が完了したら

ここまで作業が終わると、パソコンの準備は完了です。

2

## パソコンの準備はすべて完了していますか？

これまで説明してきたパソコンの準備が、すべて完了しているか確認してください。再確認したい項目や、完了していない操作については、各参照先に戻って再度確認または操作してください。

### 1 「機種名を確認してください」 (⇒P.16)

お使いの機種によってマニュアルの読み方が異なります。

### 2 「使用上のお願い」 (⇒P.17)

このパソコンの取り扱いにあたっての、大切な注意事項です。確認してください。

### 3 「初めて電源を入れる」 (⇒P.24)

初めて電源を入れたときに行う操作です。すべての操作を終えているか、確認してください。

### 4 「画面を確認する」 (⇒P.43)

デスクトップの基本的な名称や機能です。

### 5 「電源の切り方と入れ方」 (⇒P.44)

必ずこのマニュアルの手順に従って操作してください。

### 6 「通信の回線を接続する」 (⇒P.51)

お客様の環境に合った回線を接続してください。

## パソコンの準備が完了したら『使いはじめガイド』へ

パソコンの準備が完了したら、ユーザー登録をしてください。詳しくは、『使いはじめガイド』→「使いはじめ編」→「ユーザー登録をする」をご覧ください。

知りたいとき、困ったときは、サービスアシスタントをご覧ください。

**Memo**

---

# 3

## 第3章

### 目的に合わせて接続／設定する

「周辺機器を取り付けたい」など、目的に合わせてお読みください。

1 周辺機器を取り付ける .....	60
--------------------	----

# 1 周辺機器を取り付ける

ここでは、プリンタなどの周辺機器を取り付ける前に、予備知識として知っておいていただきたいことを説明しています。



警告

- 周辺機器の取り付けや取り外しを行うときは、パソコン本体および接続されている機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。  
感電・火災または故障の原因となります。



注意

- 周辺機器のケーブルは正しく接続してください。  
誤った接続状態でお使いになると、パソコン本体および周辺機器が故障する原因となることがあります。
- 周辺機器、および周辺機器のケーブルは、弊社純正品をお使いください。  
純正品以外の周辺機器、および周辺機器のケーブルをお使いになると、故障の原因となることがあります。

## 取り扱い上の注意

周辺機器を取り付けるときは、次のことに注意してください。

### ・周辺機器は、弊社純正品をお使いいただくことをお勧めします

純正品が用意されている周辺機器については、純正品以外を取り付けて、正常に動かなかつたり、パソコンが故障しても、保証の対象外となります。  
純正品が用意されていない周辺機器については、このパソコンに対応しているかどうかをお使いの周辺機器メーカーにご確認ください。

### ・Windows のセットアップは終了していますか？

「初めて電源を入れる～Windows のセットアップ」(☞P.24) をご覧になり、Windows のセットアップを行ってください。  
なお、セットアップを行う前に周辺機器を取り付けると、セットアップが正常に行われないおそれがあります。

## 「画面で見るマニュアル」をご覧ください

周辺機器を取り付けるには、お使いになる周辺機器のマニュアルとあわせて、「画面で見るマニュアル」の「パソコンの使い方」をご覧ください。

「パソコンの使い方」は次の手順でご覧いただけます。

### 1 ワンタッチボタンを「ワンタッチ」モードにして「A」ボタン (☞P.13) を押します。

サービスアシスタントが起動します。

次のページへ

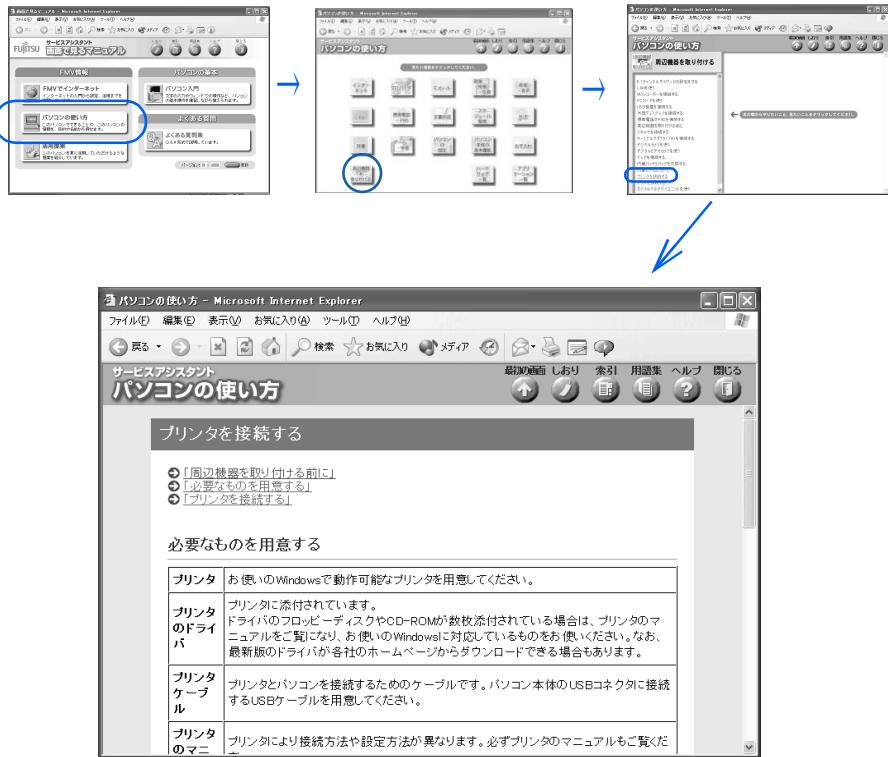
## 2 「画面で見るマニュアル」をクリックします。



3

## 3 「パソコンの使い方」をクリックし、取り付けたい周辺機器を選択します。

例えば、プリンタを接続する場合は、「パソコンの使い方」→「周辺機器を取り付ける」→「プリンタを接続する」の順にクリックします。



### POINT

#### 周辺機器によっては、印刷してご覧いただくものがあります

操作の途中で電源を切る必要のある周辺機器については、「パソコンの使い方」の該当ページにその旨記載されています。操作を始める前に「パソコンの使い方」を印刷してご覧ください。

#### サービスアシスタントが起動しない場合

□『トラブル解決ガイド』→「サービスアシスタント起動時のエラーについて」をご覧ください。

**Memo**

---

# 4

## 第4章 付 錄

1 仕様一覧 .....	64
2 リサイクルについて .....	68

# 1 仕様一覧

## 本体

製品名称		FMV-BIBLO NE9/1130M	FMV-BIBLO NE9/1130
CPU (※1)		モバイルインテル® Pentium®III プロセッサ 1.13GHz-M	
キャッシュメモリ		32KB + 512KB (CPU 内蔵)	
システムバスクロック		133MHz	
メモリ		標準 256MB / 最大 768MB (SDRAM/133MHz)	
拡張スロット		拡張 RAM モジュール用スロット × 1	
プロッピードライブ (固定式)		3.5 インチ 3 モード [2HD : 1.44MB, 1.2MB, 2DD : 720KB] (※2)	
HDD (固定式)		2.5 インチ 40GB (※3)	
CD/DVD ドライブ(固定式) (※4)		CD-RW/DVD-ROM ドライブ (CD-ROM 読出 24 倍速 / CD-R 書込 8 倍速 / CD-RW 書込書換 8 倍速 / DVD-ROM 読出 8 倍速)	
表示機能	画面制御 / VRAM 容量	チップセットに内蔵 (最小 8MB / 最大 48MB [メインメモリと共に])	
	LCD (ドットピッチ) (※5)	14.1 型 TFT カラー 1024 × 768 ドット (0.279mm)	
	色数	1024 × 768 ドット : 1677 万色 (※6)	
	外部ディスプレイ表示	最大 1600 × 1200 ドット : 1677 万色	
同時表示 (※7)		1024 × 768 ドット : 1677 万色 (※6)	
	サウンド機能	AC-Link 接続サウンドチップ (16bit ステレオ PCM) / ソフトウェア Wavetable 機能内蔵 内蔵スピーカー (ステレオ)	
キーボード		一体型 OADG 配列準拠 87 キー (Windows キー、アプリケーションキー付)	
ポイントティングデバイス		フラットポイント、i スクローラ	
ワンタッチボタン		プログラマブル × 4 (モード切り替えスイッチ付)	
通信機能	モデム (※8)	内蔵 [DATA (V.90) / FAX (14.4Kbps)]	
	有線 LAN (※9)	内蔵 [10BASE-T / 100BASE-TX]	
	ワイヤレス LAN (※10)	内蔵 [IEEE 802.11b 準拠]	—
	Bluetooth™ (※11)	—	内蔵 [Bluetooth™ Specification Ver.1.1 ]
インターフェース	PC カード	PC Card Standard 準拠 Type I / II × 2 スロットまたは Type III × 1 スロット (CardBus 対応)	
	外部ディスプレイ	アナログ RGB Mini D-SUB 15 ピン	
	シリアル	RS-232C D-SUB 9 ピン (16550A 互換)	
	パラレル	ECP 対応 D-SUB 25 ピン	
	拡張キーボード / マウス	PS/2 タイプ Mini DIN 6 ピン	
	USB (※12)	USB コネクタ 4 ピン × 4 (USB1.1 準拠)	USB コネクタ 4 ピン × 3 (USB1.1 準拠)
	IEEE1394 (※12)	S400 対応 4 ピン × 1	
	サウンド	ヘッドホン出力、ライン入力 : φ3.5mm ステレオ・ミニジャック × 各 1 マイク入力 : φ3.5mm モノラル・ミニジャック × 1 光デジタルオーディオ出力 : (ライン入力と共に)	
	モデムコネクタ	モジュラージャック (RJ-11) × 1	
	LAN コネクタ	モジュラージャック (RJ-45) × 1	
	ビデオ出力	NTSC 出力 (S 端子 × 1)	
電源供給方式		AC アダプタまたはリチウムイオンバッテリ	
AC アダプタ仕様		入力 AC100V ~ 240V, 出力 DC16V (3.75A)	
バッテリ (※13)		リチウムイオン 電池 10.8V / 3000mAh	
バッテリ稼働時間 (JEITA 測定法 1.0 (※14))		約 2.2 時間	

パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。  
「仕様一覧の※印について」 ( ▶ P.67)

製品名称	FMV-BIBLO NE9/1130M	FMV-BIBLO NE9/1130
バッテリ充電時間 (※ 15)		約 3 時間
消費電力 (※ 16)	約 58W 以下	約 57W 以下
省エネ法に基づくエネルギー消費効率 (※ 17)		S 区分 0.00053
外形寸法		W308 × D282 × H36.2 ~ 44.8mm (突起部含まず)
質量		約 3.3kg
サポート OS (※ 18)		Windows XP Home Edition / Windows XP Professional

パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。  
「仕様一覧の※印について」(☞▶P.67)

製品名称		FMV-BIBLO NE9/ 1000
CPU (※ 1)		モバイル インテル® Pentium® III プロセッサ 1GHz
キャッシュメモリ		32KB + 256KB (CPU 内蔵)
システムバスクロック		100MHz
メモリ		標準 256MB / 最大 256MB (SDRAM/100MHz)
[拡張スロット]		拡張 RAM モジュール用スロット × 1 (※ 19)
フロッピードライブ (固定式)		3.5 インチ 3 モード [2HD : 1.44MB, 1.2MB, 2DD : 720KB] (※ 2)
HDD (固定式)		2.5 インチ 30GB (※ 3)
CD/ DVD ドライブ (固定式) (※ 4)		CD-RW/DVD-ROM ドライブ (CD-ROM 読出 24 倍速 / CD-R 書込 8 倍速 / CD-RW 書込書換 8 倍速 / DVD-ROM 読出 8 倍速)
表示機能	画面制御 / VRAM 容量	ATI RAGE™ Mobility-P [PCI 接続] / 8MB (SDRAM)
LCD (ドットピッチ) (※ 5)	14.1 型 TFT カラー 1024 × 768 ドット (0.279mm)	
[色数]	1024 × 768 ドット : 1677 万色 (※ 6)	
外部ディスプレイ表示		最大 1600 × 1200 ドット : 1677 万色
同時表示 (※ 7)		1024 × 768 ドット : 1677 万色 (※ 6)
サウンド機能		AC-Link 接続サウンドチップ (16bit ステレオ PCM) / ソフトウェア XG Wavetable 機能内蔵 内蔵スピーカー (ステレオ)
キーボード		一体型 OADG 配列準拠 87 キー (Windows キー、アプリケーションキー付)
ポインティングデバイス		フラットポイント、i スクローラ
ワントッチボタン		プログラマブル × 4 (モード切り替えスイッチ付)
通信機能	モデム (※ 8)	内蔵 [DATA (V.90) / FAX (14.4Kbps)]
有線 LAN (※ 9)		内蔵 [10BASE-T / 100BASE-TX]
ワイヤレス LAN		—
Bluetooth™		—
イ	PC カード有線 LAN (※ 9)	PC Card Standard 準拠 Type I / II × 2 スロットまたは Type III × 1 スロット (CardBus 対応)
ン	外部ディスプレイ	アナログ RGB Mini D-SUB 15 ピン
タ	シリアル	RS-232C D-SUB 9 ピン (16550A 互換)
ー	パラレル	ECP 対応 D-SUB 25 ピン
フ	拡張キーボード / マウス	PS/2 タイプ Mini DIN 6 ピン
エ	USB (※ 12)	USB コネクタ 4 ピン × 4 (USB1.1 準拠)
ス	IEEE1394 (※ 12)	S400 対応 4 ピン × 1
電源供給方式	サウンド	ヘッドホン出力、ライン入力 : φ 3.5mm ステレオ・ミニジャック × 各 1 マイク入力 : φ 3.5mm モノラル・ミニジャック × 1 光デジタルオーディオ出力 : (ライン入力と共に)
AC アダプタ仕様	モデムコネクタ	モジュラージャック (RJ-11) × 1
バッテリ (※ 13)	LAN コネクタ	モジュラージャック (RJ-45) × 1
バッテリ稼働時間 (JEITA 測定法 1.0 (※ 14))	ビデオ出力	NTSC 出力 (S 端子 × 1)
バッテリ充電時間 (※ 15)		AC アダプタまたはリチウムイオンバッテリ
消費電力 (※ 16)		入力 AC100V ~ 240V, 出力 DC16V (3.75A)
省エネ法に基づくエネルギー消費効率 (※ 17)		リチウムイオン電池 10.8V / 3000mAh
外形寸法		約 2.4 時間
質量		約 3 時間
サポート OS (※ 18)		約 55W 以下
		S 区分 0.00060
		W308 × D282 × H36.2 ~ 44.8mm (突起部含まず)
		約 3.3kg
		Windows XP Home Edition / Windows XP Professional

パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。  
「仕様一覧の※印について」 (♦♦►P.67)

## 仕様一覧の※印について

- ※ 1 アプリケーションによっては CPU 名表記が異なる場合があります。
- ※ 2 フロッピーディスクは、フォーマットした環境（メーカー、機種、ソフトウェア）によっては、データを読み書きできない場合があります。使用できるフォーマットについては、[※1 \(サービスアシスタント\)](#) の最初の画面 → 「画面で見るマニュアル」→ 「パソコンの使い方」→ 「パソコン本体の基本機能」→ 「フロッピーディスクを使う」→ 「フロッピーディスクを使うときの注意」をご覧ください。
- ※ 3 このマニュアルのハードディスク容量は、1MB=1000<sup>2</sup>byte、1GB=1000<sup>3</sup>byte 換算値です。  
1MB=1024<sup>2</sup>byte、1GB=1024<sup>3</sup>byte 換算のものは表記上同容量でも、実容量は少なくなりますのでご注意ください。
- ※ 4 各数値は仕様上の最大値であり、実際の速度は使用メディアや使用条件によって異なります。
- ※ 5 以下は、液晶ディスプレイの特性です。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- ・TFT 液晶ディスプレイは高度な技術を駆使し、一画面上に 235 万個以上（解像度 1024 × 768 の場合）の画素（ドット）より作られております。このため、画面上の一部に点灯しないドットや、常時点灯するドットが存在する場合があります。
  - ・パソコンで使用している液晶ディスプレイは、製造工程により、各製品で色合いが異なる場合があります。また、温度変化などで多少の色むらが発生する場合があります。
- ※ 6 液晶ディスプレイでは、ディザリング機能によって表示されます。
- ※ 7 液晶ディスプレイと外部ディスプレイの同時表示の場合は。
- ※ 8 56000bps は V.90 の理論上の最高速度であり、実際の通信速度は回線の状況により変化します。V.90 の 33600bps を超える通信速度は受信時のみで、送信時は 33600bps が最高速度となります。また、日本国内の一般公衆回線、あるいは構内交換機経由での通信においては同規格での通信が行えない場合があります。
- ※ 9 屋内ネットワーク専用です。
- ※ 10 ワイヤレス LAN 製品の相互接続性を検証する「WECA (Wireless Ethernet Compatibility Alliance)」が定義する、ワイヤレス LAN 標準の「Wi-Fi」に準拠しています。また、IEEE802.11a に対応したワイヤレス機器とは接続できません。
- ※ 11 すべての Bluetooth™ 機器との通信について動作保証するものではありません。
- ※ 12 詳しくは、[※1 \(サービスアシスタント\)](#) の最初の画面 → 「画面で見るマニュアル」→ 「パソコンの使い方」→ 「パソコン本体の基本機能」→ 「Bluetooth™ を使う」をご覧ください。
- ※ 13 すべての USB および IEEE1394 対応周辺機器について動作保証するものではありません。
- ※ 14 パッテリパックは消耗品です。
- ※ 15 社団法人 電子情報技術産業協会の『JEITA パッテリ動作時間測定法 (Ver1.0)』(<http://it.jeita.or.jp/mobile/index.html>)。なお、本体のみ、省電力制御あり、満充電の場合。ただし、実際の稼働時間は使用条件により異なります。
- ※ 16 MAIN スイッチ OFF またはスタンバイ時。パソコン動作中の充電時間は、パソコンの動作状況によって長くなることがあります。
- ※ 17 AC アダプタ運用時、充電なしの場合。パッテリ充電時の消費電力は、約 65W になります。  
その他の消費電力については次のとおりです。  
・電源 OFF 時の消費電力：約 1W 以下（満充電時）  
　なお、電源 OFF 時のエネルギー消費を回避するには、AC アダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。  
・動作時の最大電力／最小電力：約 65W／約 22W
- ※ 18 スタンバイ時（充電なし）。ワンタッチボタンがロック状態のとき。AC アダプタを含む。  
エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定した消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。
- ※ 19 他の OS をお使いになる場合は、富士通パソコン情報サイト FMWORLD.NET (<http://www.fmworld.net/>) をご覧ください。  
ご購入時は、空きスロットはありません。

## ワイヤレス LAN 機能

ネットワーク種類	IEEE802.11b 準拠 (Wi-Fi 準拠) <a href="#">※1</a>
転送レート	11/5.5/2/1Mbps (自動切換え)
使用周波数	2,400 ~ 2,473MHz
チャネル数	11ch (そのうち 1ch を使用)
セキュリティ	ネットワーク名 (SSID) ネットワークキー (64 ビット /128 ビット) <a href="#">※2</a>
ワイヤレス LAN の最大接続推奨台数 (アドホック接続時)	10 台以下 <a href="#">※3</a>

※ 1 Wi-Fi 準拠とは、ワイヤレス LAN の相互接続性を保証する団体「WECA」の相互接続性テストを合格していることを示します。

※ 2 ネットワークキー (WEP) による暗号化は上記ビット数で行いますが、ユーザーが設定可能なビット数は固定長 24 ビットを引いた 40 ビット /104 ビットです。

※ 3 お使いになる環境によっては、接続可能台数は減少することがあります。

# 2 リサイクルについて

## パソコン本体の廃棄について

パソコンの液晶ディスプレイ内の蛍光管には水銀が含まれております。

パソコンを廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

### ■法人・企業のお客様へ

パソコンを廃棄する場合は、産業廃棄物の扱いとなりますので、産業廃棄物処分業の許可を取得している会社に処分を委託する必要があります。弊社は、「富士通リサイクルシステム」を用意し、お客様の廃棄のお手伝いをしておりますのでご利用ください。

### ■個人のお客様へ

パソコンを廃棄する場合は、一般廃棄物の扱いとなりますので、地方自治体の廃棄処理に関する条例または規則に従ってください。

## 富士通リサイクルシステムについて

当社では平成10年より、法人・企業のお客様から廃棄されるパソコン本体を「富士通リサイクルシステム」(有料)にて回収・リサイクルし、資源の有効利用に取り組んでおります。  
お問い合わせ／お申し込み先：富士通リサイクルシステム

(<http://eco.fujitsu.com/info/eco19990827.html>)

をご参考ください。

なお、法人・企業以外のお客様はお申し込みできません。

## 使用済バッテリパックの廃棄について

バッテリパック(リチウムイオン電池)は、貴重な資源です。リサイクルにご協力ください。バッテリパックを火中に投じると破裂のおそれがあります。使用済バッテリパックは、ビニールテープなどで絶縁処理をしてください。

バッテリパックの取り外し方については、 (サービスアシスタント) の最初の画面 → 「画面で見るマニュアル」 → 「パソコンの使い方」 → 「周辺機器を取り付ける」 → 「内蔵バッテリパックを交換する」をご覧ください。

### ■法人・企業のお客様へ

使用済バッテリパックを廃棄する場合は、富士通株式会社環境本部(電話番号: 044-754-3411)にお問い合わせください。

### ■個人のお客様へ

使用済バッテリパックは、「充電式電池リサイクル協力店くらぶ」に加入の販売店などに設置してあるリサイクルBOXに入れてください。



このマークは、リチウムイオン電池のリサイクルマークです。

Li-ion

# 索引

## A

AC アダプタ .....	19
-接続する .....	22
-表示 .....	12
A ボタン .....	13

## B

Bluetooth™	
-接続表示 .....	12
-ボタン .....	9
-ランプ .....	9
B ボタン .....	13

## C

Caps Lock 表示 .....	12
CD/DVD ドライブ .....	10
cdmaOne 接続用 USB ケーブル .....	56
CD アクセス表示 .....	12
CD 取り出しボタン .....	10
「CD バックアップ」モード .....	13

## D

DC-IN コネクタ .....	10
「DISC」モード .....	13
DSU .....	55
DVD-ROM ドライブ .....	10
DV 端子 .....	10

## E

E-mail ボタン .....	13
------------------	----

## I

IEEE1394 (DV) 端子 .....	10
Internet ボタン .....	13
i-Panel .....	9, 12
ISDN 回線 .....	55
i スクローラ .....	9

## L

LAN コネクタ .....	11
----------------	----

## M

MAIN スイッチ .....	10
-----------------	----

## N

Num Lock 表示 .....	12
-------------------	----

## P

PC カード	
-アクセス表示 .....	12
-スロット .....	10
-取り出しボタン .....	10

## PHS

-接続用 USB ケーブル .....	56
-使う .....	56
PIAFS .....	56

## S

Scroll Lock 表示 .....	12
SUS/RES スイッチ .....	9
SUS/RES 表示 .....	12
S 端子 .....	10

## T

TA .....	55
----------	----

## U

USB コネクタ .....	11
----------------	----

## W

Windows .....	24
-使用許諾契約書 .....	28
-セットアップ .....	24

## あ行

アプリケーション	
-使い始める .....	42
一般の電話回線 .....	52
液晶ディスプレイ .....	9
音量ボリューム .....	10
音量ボリュームレベル表示 .....	12

この本で見つからない情報は、画面の索引で探そう！



(サービスアシスタント) → 「画面で見るマニュアル」→ 上部の (索引) ボタン

索引



## か行

カーソル	39
外部ディスプレイコネクタ	11
拡張キーボードコネクタ	11
拡張キーボード／マウスコネクタ	11
各部名称	9
-i-Panel	12
-パソコン本体下面	11
-パソコン本体前面	9
-パソコン本体側面	10
-パソコン本体背面	11
-ワンタッチボタン	13
カバークローズスイッチ	9
画面を確認する	43
画面で見るマニュアル	37, 60
キーボード	9
機種名	16
強制終了	46
空冷用ファン	11
クリック	27
携帯電話	
-接続用 USB ケーブル	56
-使う	56

## さ行

サービスアシスタント	37, 60
周辺機器を取り付ける	60
仕様	
一本体	64
-ワイヤレス LAN 機能	67
シリアルコネクタ	11
「スタート」ボタン	43
スピーカー	9
「設定」モード	13
セットアップ	24

## た行

ターミナルアダプタ	55
ダイヤル方法	41
タスクバー	43
通信の回線	51
通知領域	43
使いはじめガイド	57
デスクトップ	43
電源	
-入れる	22, 48
-切る	44
-切れがない場合	46
電話回線	
-種類	41
-接続	52
電話線	52
盗難防止用ロック	10
トーン	41

## な行

内蔵バッテリパック	11
「ニュース」モード	13
は行	
ハードディスクアクセス表示	12
初めて電源を入れる	24
バッテリ	
-残量表示	12
-充電表示	12
-装着表示	12
-使うときの注意	48
パラレルコネクタ	11
パルス	41
光デジタルオーディオ出力端子	10
品名	16
フラットポイント	9
プリンタ	61
フロッピーディスクアクセス表示	12
フロッピーディスクドライブ	10
フロッピーディスク取り出しボタン	10
ヘッドホン端子	10
保証書	19, 33

## ま行

マイク端子	10
マウスポインタ	39
メッセージ表示領域	12
モードボタン	9, 13
モジュラーケーブル	52
モデムコネクタ	11
モデム	52

## ら行

ラインイン端子	10
ラッチ	9
ロックスイッチ	9

## わ行

ワイヤレスステーション	51
ワンタッチボタン	9, 13
「ワンタッチ」モード	13

---

FMV-BIBLO NE9/1130M,  
NE9/1130, NE9/1000

**パソコンの準備**

B5FH-4761-01-00

発行日 2002年1月  
発行責任 富士通株式会社

Printed in Japan

- 
- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
  - このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
  - 無断転載を禁じます。
  - 落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。







<https://www.fmworld.net/azby/>

FMVユーザー専用 アズビィクラブ ホームページ

FUJITSU



本製品はJEITA「PCグリーンラベル制度」の  
審査基準(2001年度版)を満たしています。  
詳細は、Webサイト <http://www.jeita.or.jp>  
をご覧ください。



このマニュアルは再生紙を使用しています。

T4988618881173